

Ⅲ 親と子どもアンケート調査結果

1. 回答者の属性

(1) 調査回答者の続柄

問 このアンケートに回答されたのはどなたですか。(〇は1つだけ)

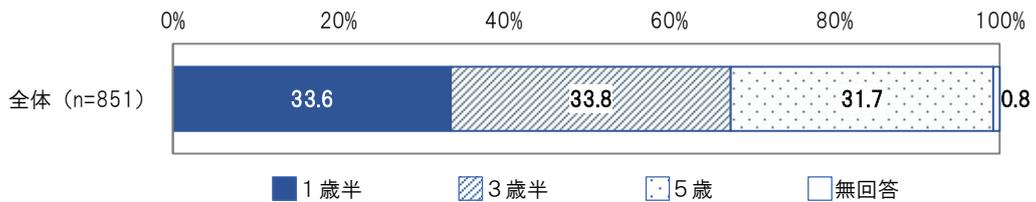
・調査回答者の続柄は、「お母さま」が96.1%と大半を占めている。



(2) 対象者の年齢

問 お子さまの生年月を教えてください。

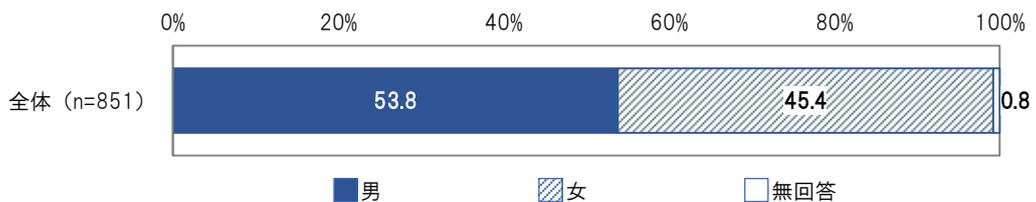
・対象者の年齢は、「1歳半」、「3歳半」、「5歳」がともに3割程度となっている。



(3) 子どもの性別

問 お子さまの性別を教えてください。

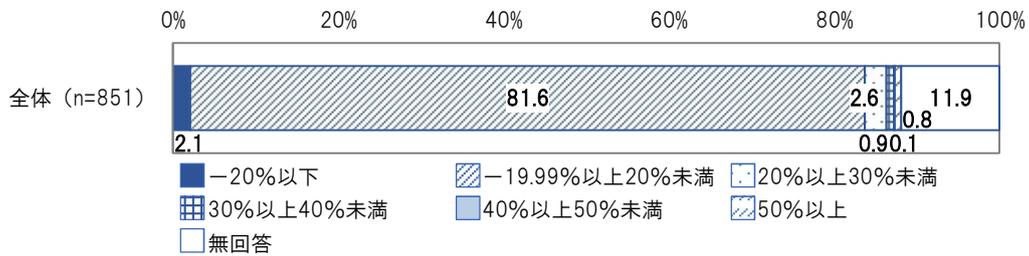
・子どもの性別は、「男」が53.8%、「女」が45.4%となっている。



(4) 子どもの肥満度

問 お子さまの身長と体重を教えてください。(最近測った数値で)

- 子どもの肥満度は、「-19.99%以上 20%未満」が 81.6%と8割を超え、「-20%以下」は 2.1%、幼児期肥満とされる『20%以上』は 4.4%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、すべての年齢で「-19.99%以上 20%未満」が最も高くなっているものの、年齢が下がるにつれて低くなっており、1歳半では8割未満となっている。
- また、幼児期肥満とされる『20%以上』では、1歳半では5.2%、3歳半では3.5%、5歳では4.9%となっている。

		(%)							
		回答者数 (人)	マイナス20%以下	20%未満 マイナス19.99%以上	20%以上30%未満	30%以上40%未満	40%以上50%未満	50%以上	無回答
年齢別	1歳半	286	2.1	74.5	3.1	0.7	-	1.4	18.2
	3歳半	288	1.0	83.7	2.1	0.7	-	0.7	11.8
	5歳	270	3.3	88.5	2.6	1.5	0.4	0.4	3.3

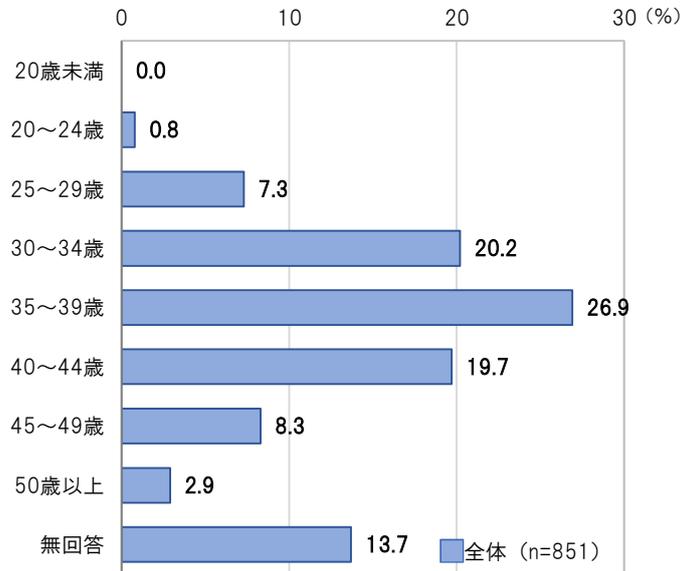
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(5) 父親・母親の年齢

問 お子さまのお父さまとお母さまの年齢を教えてください。

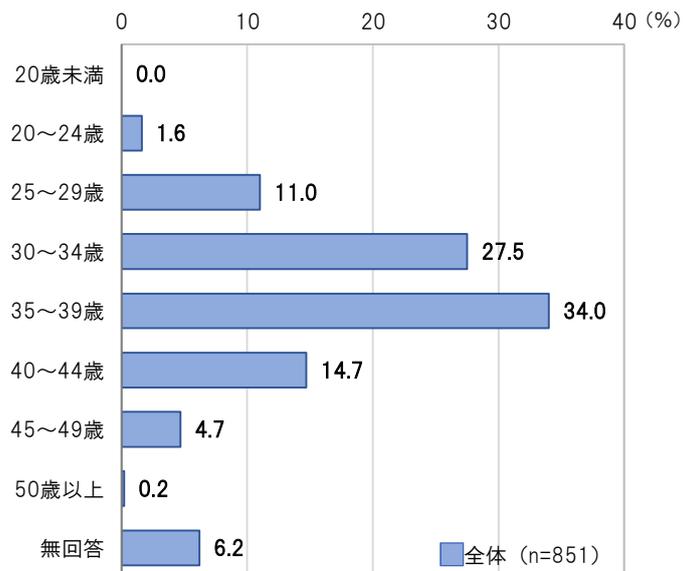
① 父親

・父親の年齢は、「35～39歳」が26.9%と最も高く、次いで「30～34歳」(20.2%)、「40～44歳」(19.7%)の順となっている。



② 母親

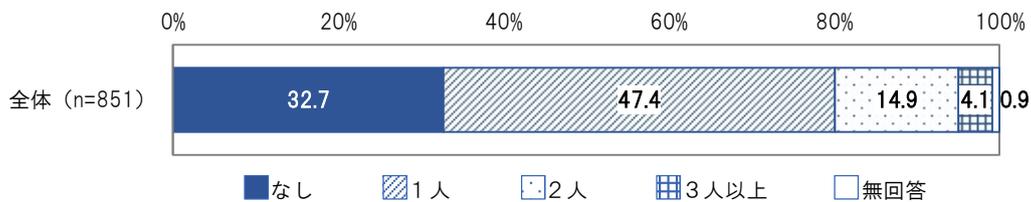
・母親の年齢は、「35～39歳」が34.0%と最も高く、次いで「30～34歳」(27.5%)、「40～44歳」(14.7%)の順となっている。



(6) きょうだいの有無

問 お子さまに兄弟姉妹はいますか。

- きょうだいの有無は、「なし（ひとりっ子）」が 32.7%と3割程度となっており、きょうだいがいる子どもが7割近くを占めている。
- また、きょうだいの人数では、「1人」が 47.4%、「2人」が 14.9%、「3人以上」が 4.1%となっている。



(7) 家族構成

問 家族構成（同居している人）を教えてください。

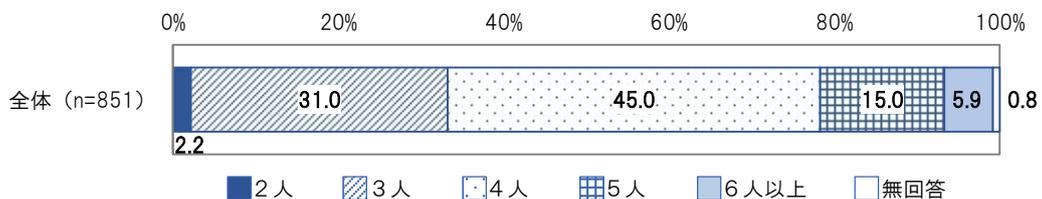
- 家族構成は、「親子のみ」が 92.6%と9割を超え、「親子と祖父母」は 5.6%となっている。



(8) 同居家族の人数

問 いっしょに住んでいるご家族は全員で何人ですか。

- 同居家族の人数は、「4人」が 45.0%と4割を超えて最も高く、次いで「3人」(31.0%)、「5人」(15.0%)の順となっている。



(9) 父親・母親の就労状況

問 お父さま・お母さまの就労状況についておたずねします。

① 父親

・父親の就労状況は、「働いている（パート・育児休業中を含む）」が94.1%と大半を占めている。



② 母親

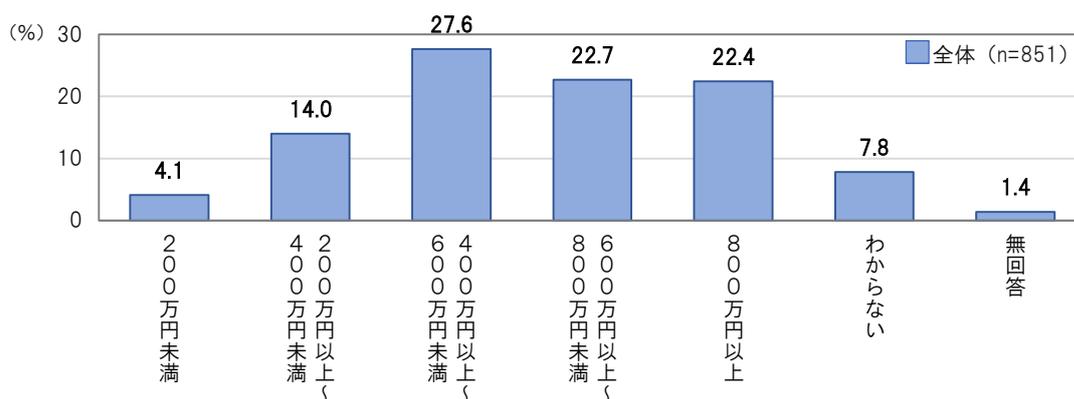
・母親の就労状況は、「働いている（パート・育児休業中を含む）」が68.5%と7割近くを占めており、「働いていない」が30.7%と約3割を占めている。



(10) 世帯全体の年間収入

問 あなたの世帯全体の年間収入は、どれに当てはまりますか。（○は1つだけ）

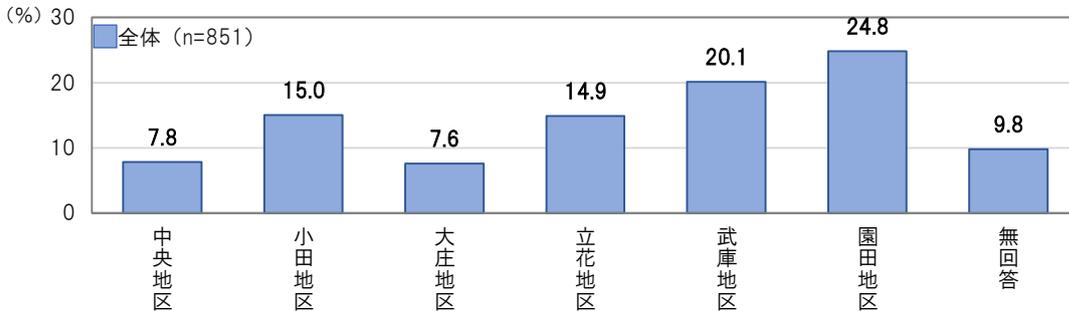
・世帯全体の年間収入は、「400万円以上～600万円未満」が27.6%と3割近くを占めて最も高く、次いで「600万円以上～800万円未満」（22.7%）、「800万円以上」（22.4%）の順となっている。



(11) 居住地区

問 お住まいの地域の郵便番号を教えてください。分からない場合は、町名をご記入ください。

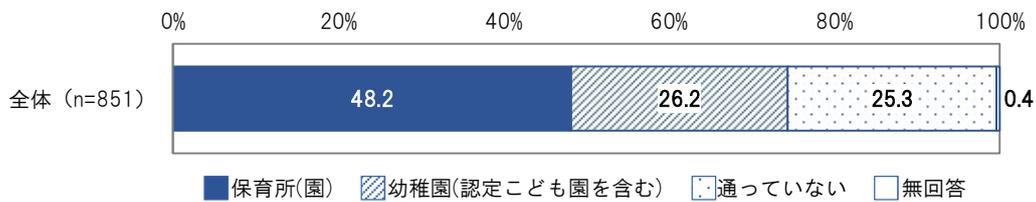
- 居住地区は、「園田地区」が 24.8%と最も高く、次いで「武庫地区」(20.1%)、「小田地区」(15.0%)、「立花地区」(14.9%) の順となっている。



(12) 子どもの通園先

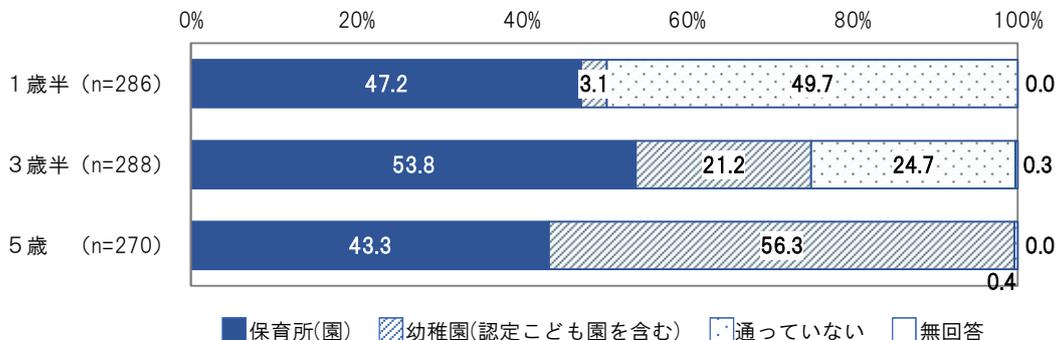
問 あなたのお子さんはどこに通っていますか。(○は1つだけ)

- 子どもの通園先は、「保育所(園)」が 48.2%と半数近くを占めて最も高く、次いで「幼稚園(認定こども園を含む)」が 26.2%となっている。また、「通っていない」が 25.3%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、1歳半では「保育所(園)」と「通っていない」がほぼ半分程度、3歳半では「保育所(園)」が半数を超えて最も多く、「幼稚園(認定こども園を含む)」が2割程度、5歳では「幼稚園(認定こども園を含む)」が半数を超え、「保育所(園)」が4割程度となっている。



2. 子どもの健康について

(1) 子どもの普段の健康状態

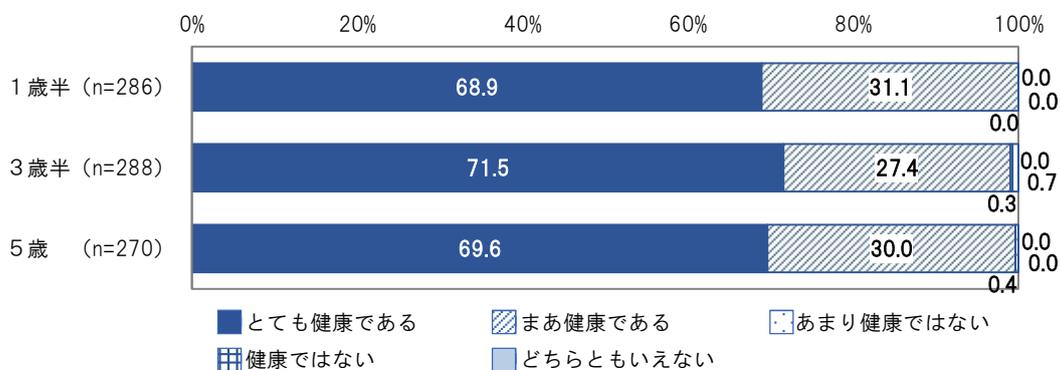
問1 お子さまの普段の健康状態についてどう思いますか。(○は1つだけ)

- 子どもの普段の健康状態は、「とても健康である」が70.2%と約7割を占めて最も高く、「まあ健康である」(29.4%)と合わせると、『健康である』がほぼ全員となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(2) かかりつけ小児科医

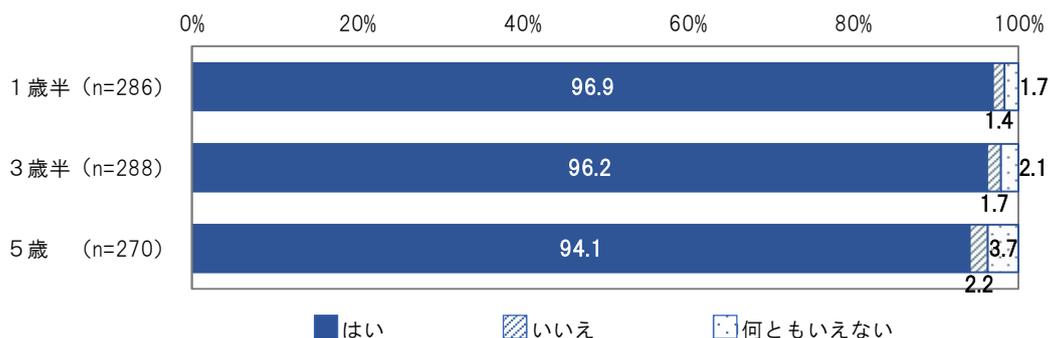
問2 かかりつけの小児科医はいますか。(○は1つだけ)

- かかりつけ小児科医は、「はい(いる)」が95.8%と9割を超え、「いいえ(いない)」は1.8%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。

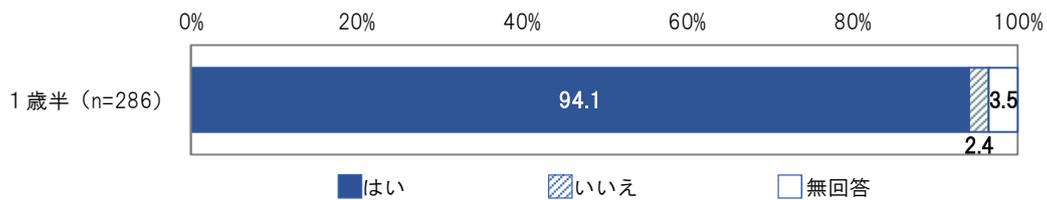


(3) 四種混合の予防接種状況（1歳半のみ）

1歳6か月児健診を受診される保護者の方におたずねします。

問3 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）の予防接種（第1期初回3回）を済ませましたか。（○は1つだけ）

・1歳半の四種混合の予防接種状況は、「はい（受けている）」が94.1%と、接種率は9割を超えている。

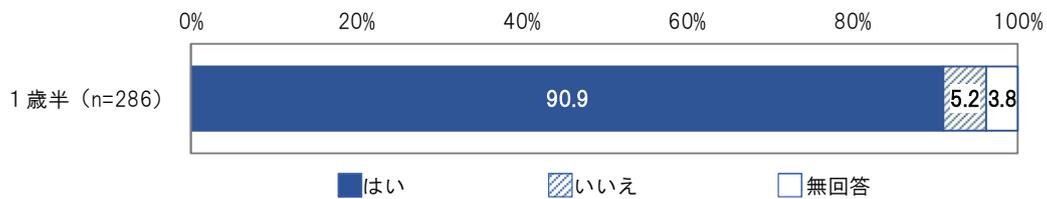


(4) 麻しん・風しんの予防接種状況（1歳半のみ）

1歳6か月児健診を受診される保護者の方におたずねします。

問4 麻しん・風しんの予防接種を済ませましたか。（○は1つだけ）

・1歳半の麻しん・風しんの予防接種状況は、「はい（受けている）」が90.9%と、接種率は約9割となっている。



3. 子どもの食生活について

(1) 朝食の摂取状況

問5 あなた(回答者)とお子さまは、朝食を食べますか。それぞれ回答してください。
(○は1つずつ)

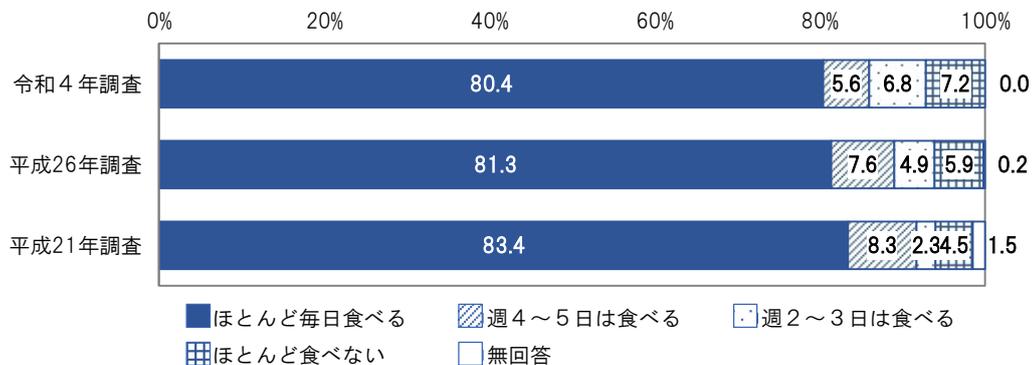
① 保護者

- ・保護者の朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が80.4%と約8割を占めている。
- ・一方で、「ほとんど食べない」が7.2%となっている。



《経年比較》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・経年で比較すると、「ほとんど毎日食べる」の割合がやや減少傾向となっている。



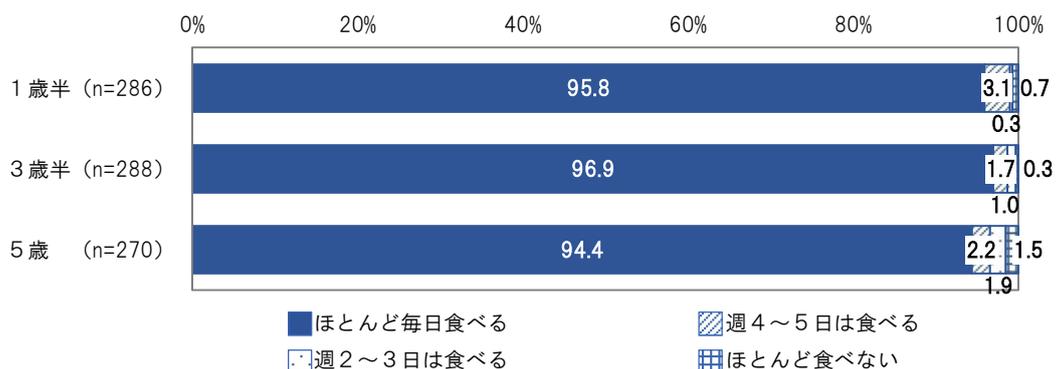
② 子ども

- ・子どもの朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が95.7%と9割を超えている。



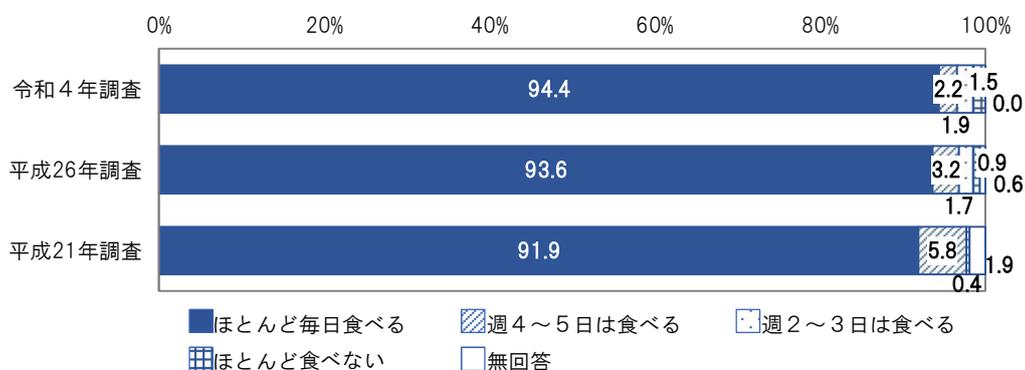
《年齢別》

- ・年齢別にみると、「ほとんど毎日食べる」の割合が5歳でやや低いものの、大きな差異はみられない。



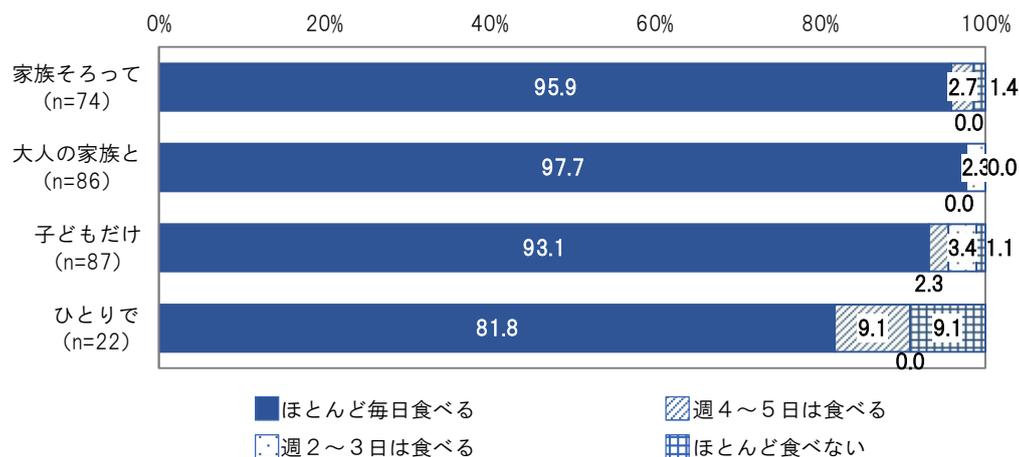
《経年比較（5歳のみ）》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 5歳の朝食の摂取状況を経年で比較すると、「ほとんど毎日食べる」の割合がやや増加傾向であるものの、大きな差異はみられない。



《朝食の共食状況別（5歳のみ）》

- 5歳の朝食の摂取状況を朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”や“大人の家族と”食べる層では「ほとんど毎日食べる」が高いのに対し、“ひとりで”食べる層では81.8%と8割程度と低くなっている。



(2) 共食状況

問6 お子さまは、普段、誰と食事を食べますか。朝食、夕食それぞれについて回答してください。(〇は1つずつ)

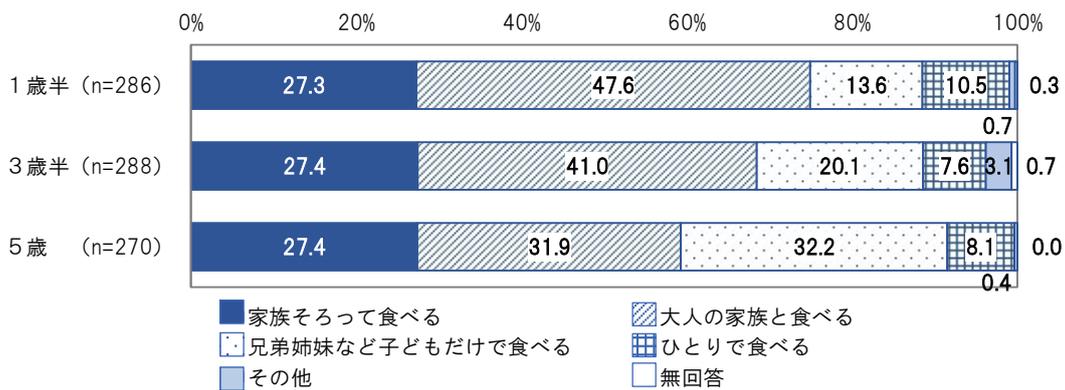
① 朝食

- 朝食の共食状況は、「大人の家族と食べる」が40.0%と4割を占めて最も高く、次いで「家族そろって食べる」(27.5%)、「兄弟姉妹など子どもだけで食べる」(22.0%)の順となっている。



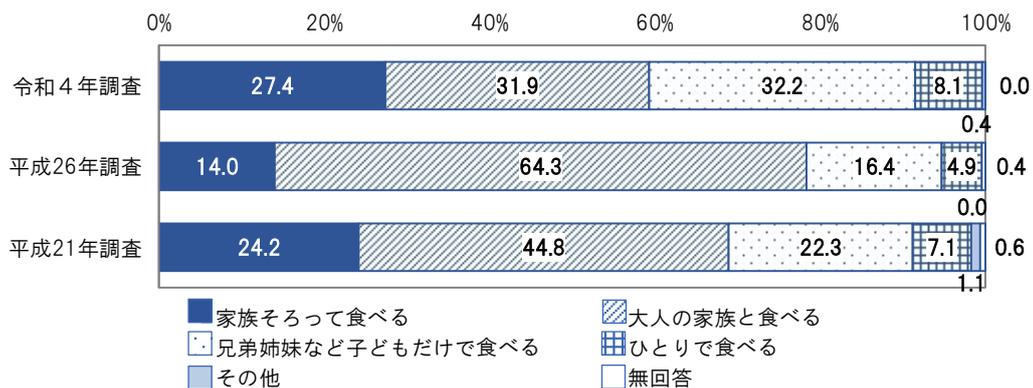
《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「兄弟姉妹など子どもだけで食べる」が高くなっており、5歳では3割を超えている。



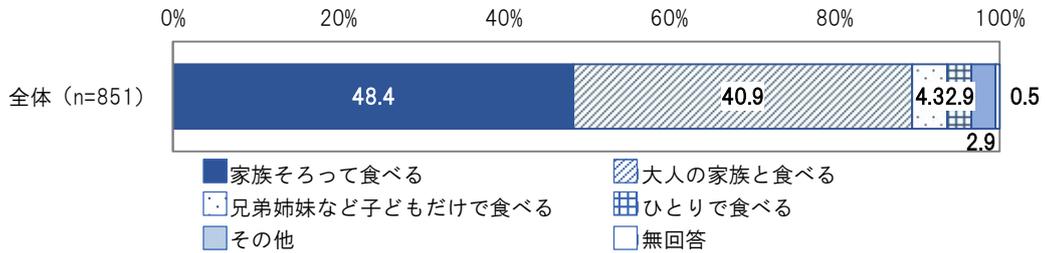
《経年比較 (5歳のみ)》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 5歳の朝食の共食状況を経年で比較すると、平成26年調査に比べて「家族そろって食べる」が10ポイント以上高くなっている。
- 一方で、「兄弟姉妹など子どもだけで食べる」や「ひとりで食べる」も同様に高くなっている。



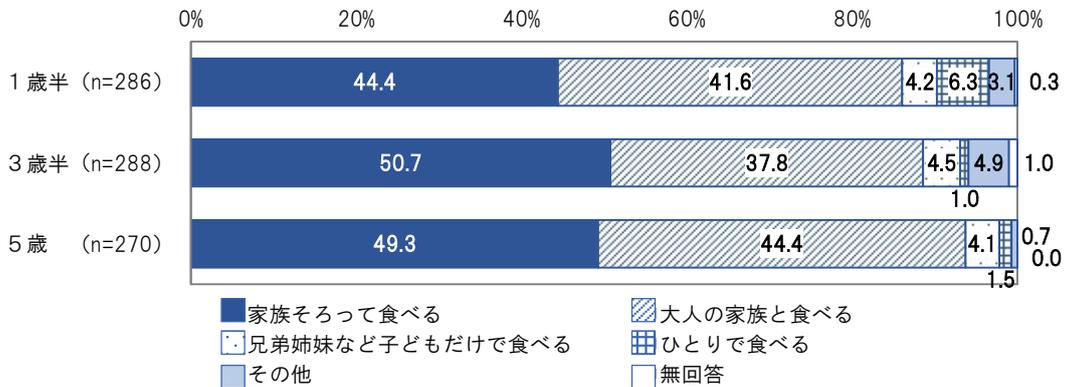
② 夕食

- ・夕食の共食状況は、「家族そろって食べる」が48.4%と半数近くを占めて最も高く、次いで「大人の家族と食べる」(40.9%)となっている。



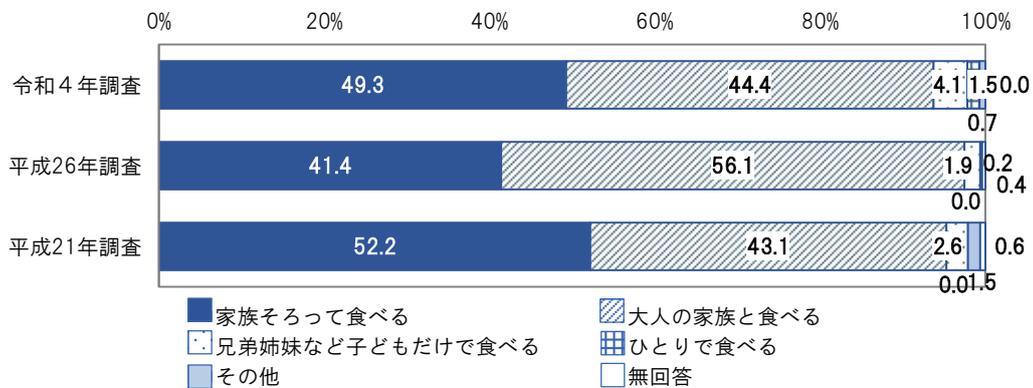
《年齢別》

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『大人と食べる』（「家族そろって食べる」＋「大人の家族と食べる」）が1歳半（86.0%）、3歳半（88.5%）、5歳（93.7%）とやや高くなっている。



《経年比較（5歳のみ）》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・5歳の夕食の共食状況を経年で比較すると、平成26年調査に比べて「家族そろって食べる」が約8ポイント高くなっている。



(3) 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取

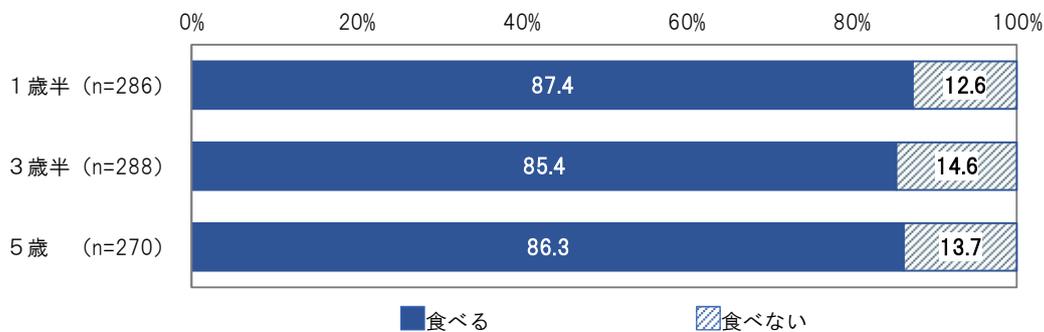
問7 ①お子さまは、主食・主菜・副菜の3つがそろった食事を、1日2回以上食べますか。
(○は1つだけ)

- 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の摂取は、「食べる」が86.4%と8割を超えており、「食べない」は1割程度（13.6%）となっている。



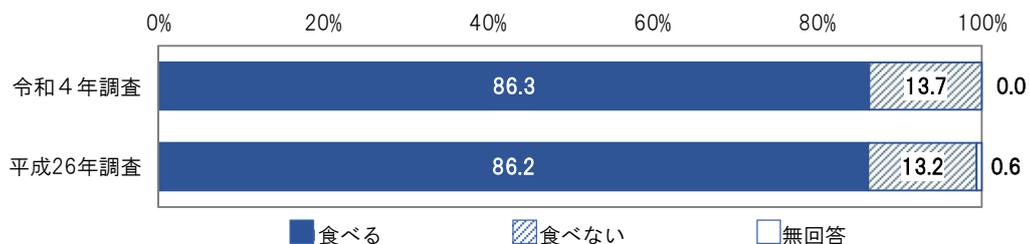
《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。



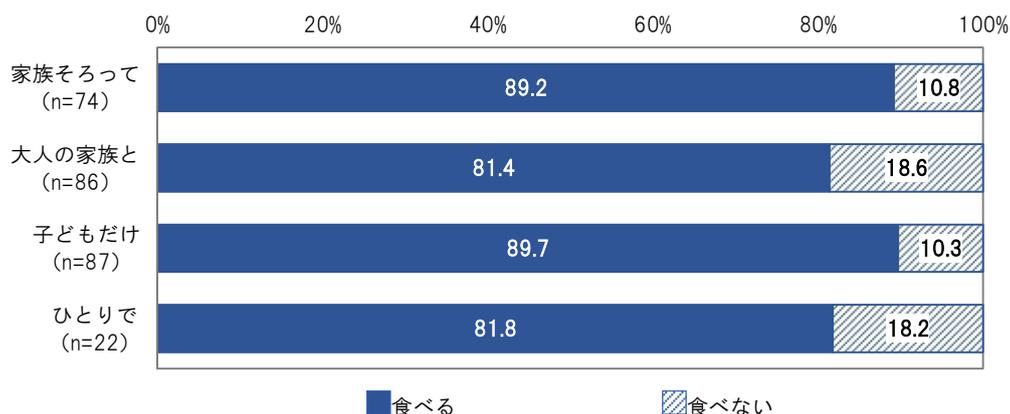
《経年比較（5歳のみ）》 ※平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 平成26年調査と比較すると、大きな差異はみられない。



《朝食の共食状況別（5歳のみ）》

- 朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”や“子どもだけで”食べる層では「食べる」が高いのに対し、“大人の家族と”や“ひとりで”食べる層では8割程度と低くなっている。



(3) -① 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の頻度

※ (3) で「食べる」と回答した人のみ

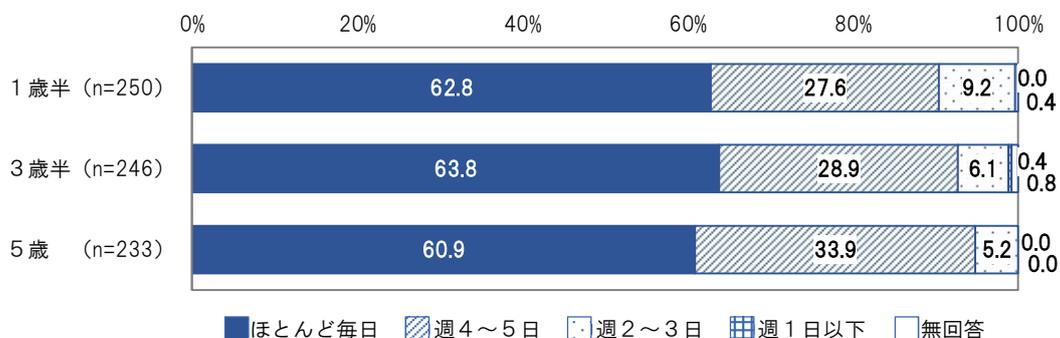
問7 ②主食と主菜と副菜の3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つだけ)

- 1日2回以上の主食・主菜・副菜の3つがそろった食事の頻度は、「ほとんど毎日」が62.4%と6割を超え、次いで「週4～5日」(30.1%)、「週2～3日」(6.9%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『4日以上』が高くなっている。

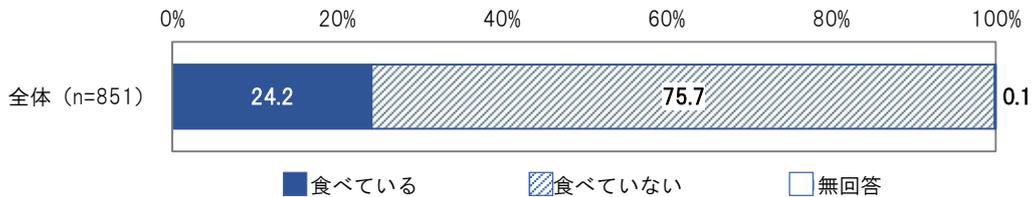


(4) 野菜の摂取状況

問8 お子さまは、家庭で野菜を食べていますか。朝食、夕食それぞれについて回答してください。(〇は1つずつ)

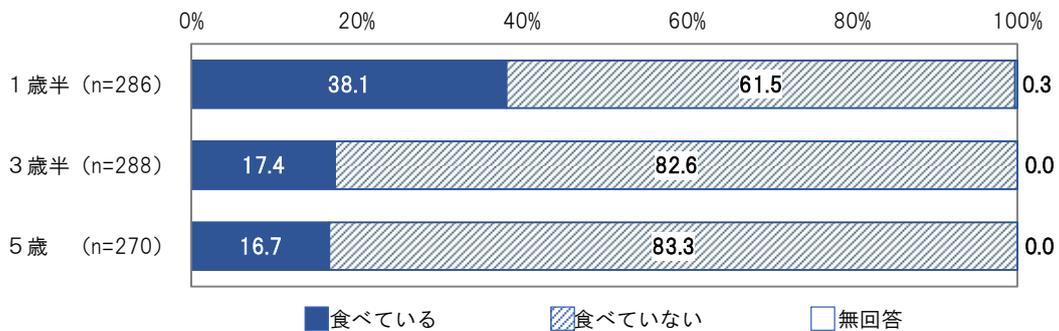
① 朝食

- ・朝食において野菜を、「食べていない」が75.7%と7割を超えており、「食べている」は2割程度(24.2%)となっている。



《年齢別》

- ・年齢別にみると、1歳半では「食べている」が38.1%と4割近くとなっているのに対し、3歳半・5歳では2割未満となっている。



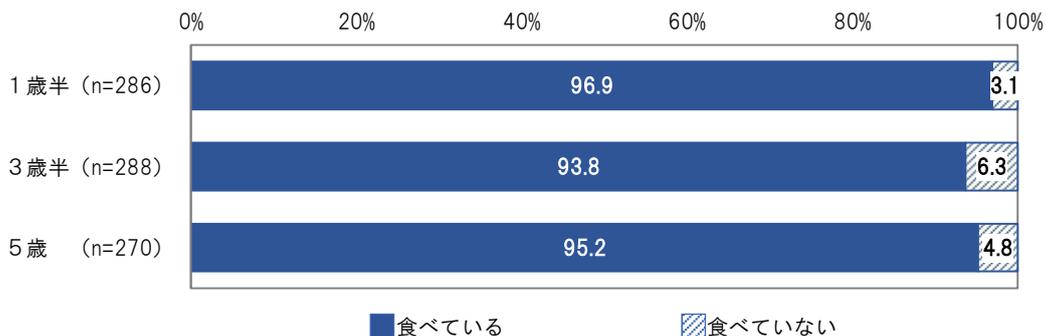
② 夕食

- ・夕食において野菜を、「食べている」が95.2%と9割を超えており、「食べていない」は4.8%となっている。



《年齢別》

- ・年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(5) 食事の挨拶

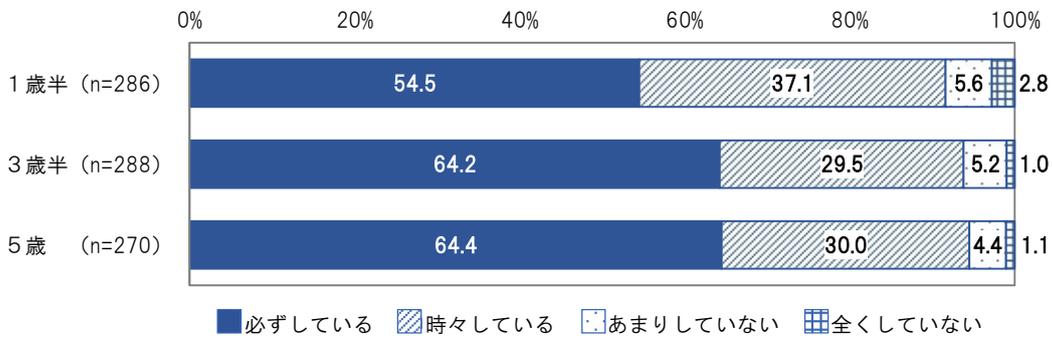
問9 お子さまは、食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をしていますか。
(○は1つだけ)

- ・食事の挨拶を、「必ずしている」が61.2%と6割を超えて最も高く、「時々している」(32.0%)と合わせると、『している』が9割を超えている。



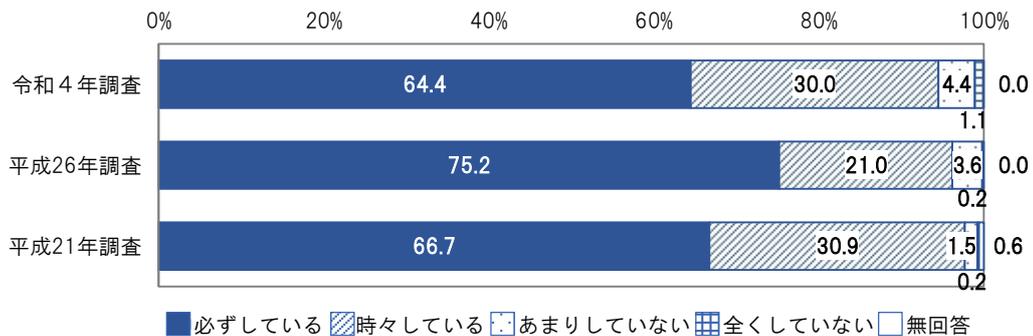
《年齢別》

- ・年齢別にみると、3歳半・5歳では「必ずしている」が6割を超え、1歳半に比べて高くなっている。



《経年比較 (5歳のみ)》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- ・5歳の食事の挨拶状況を経年で比較すると、平成26年調査に比べて「必ずしている」が低くなっているものの、『している』の割合は大きな差異はみられない。



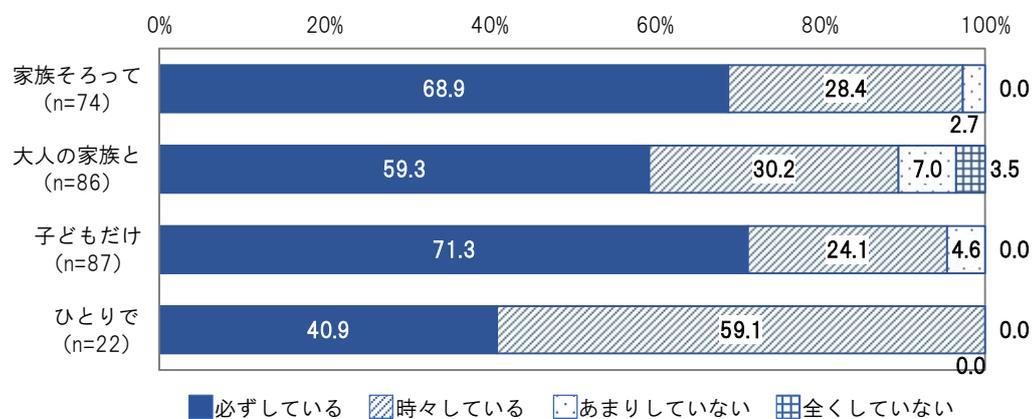
《食事のバランス (1日2回以上の主食・主菜・副菜がそろった食事の摂取状況) 別 (5歳のみ)》

- ・5歳の食事の挨拶状況を食事のバランス別にみると、食べる層では食べない層に比べて「必ずしている」がやや高くなっている。



《朝食の共食状況別（5歳のみ）》

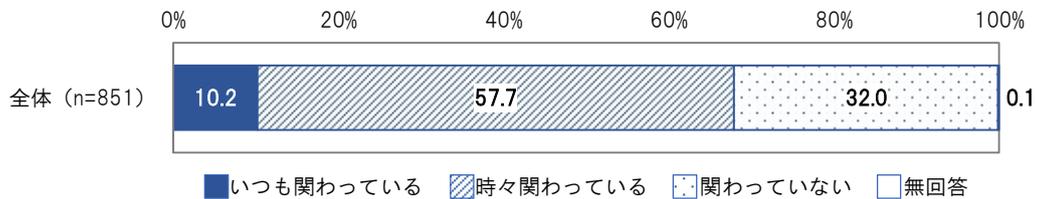
- 朝食の共食状況別にみると、“家族そろって”や“子どもだけで”食べる層では「必ずしている」が高いのに対し、“ひとりで”食べる層では4割程度と低くなっている。



(6) 食事づくりの関わり

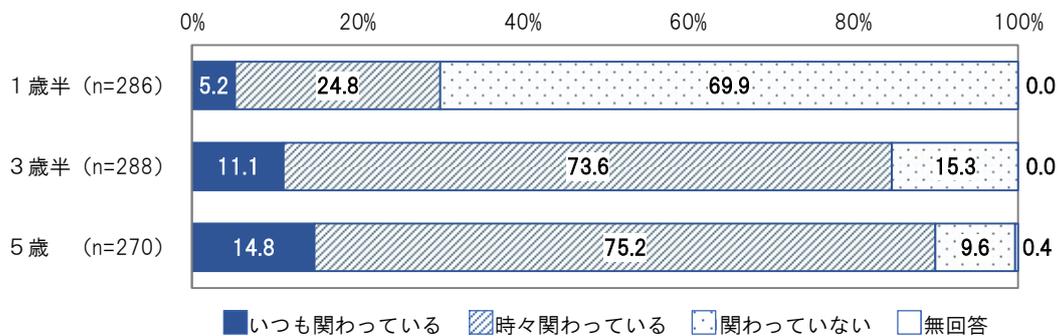
問 10 お子さまは、「食器を並べる」「一緒に料理をする」など食事の準備や食事づくりに関わっていますか。(○は1つだけ)

- 食事づくりに、「時々関わっている」が 57.7%と6割近くを占めて最も高く、「いつも関わっている」(10.2%) と合わせると、『関わっている』が7割近くを占めている。



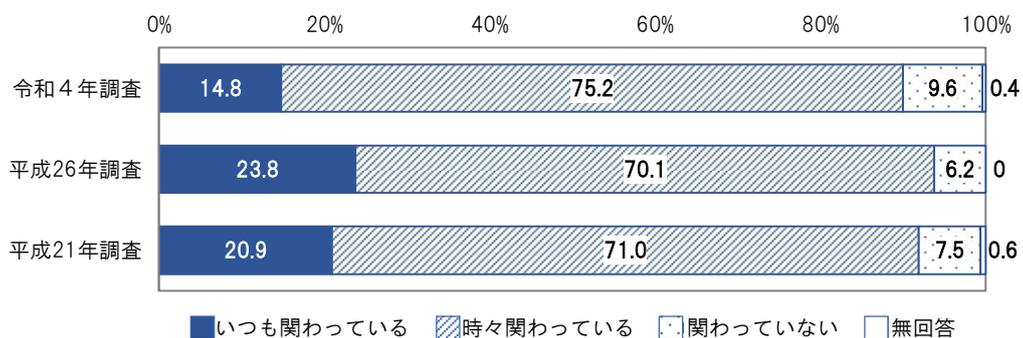
《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『関わっている』が高くなっており、3歳半では8割以上、5歳では9割を占めている。



《経年比較 (5歳のみ)》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

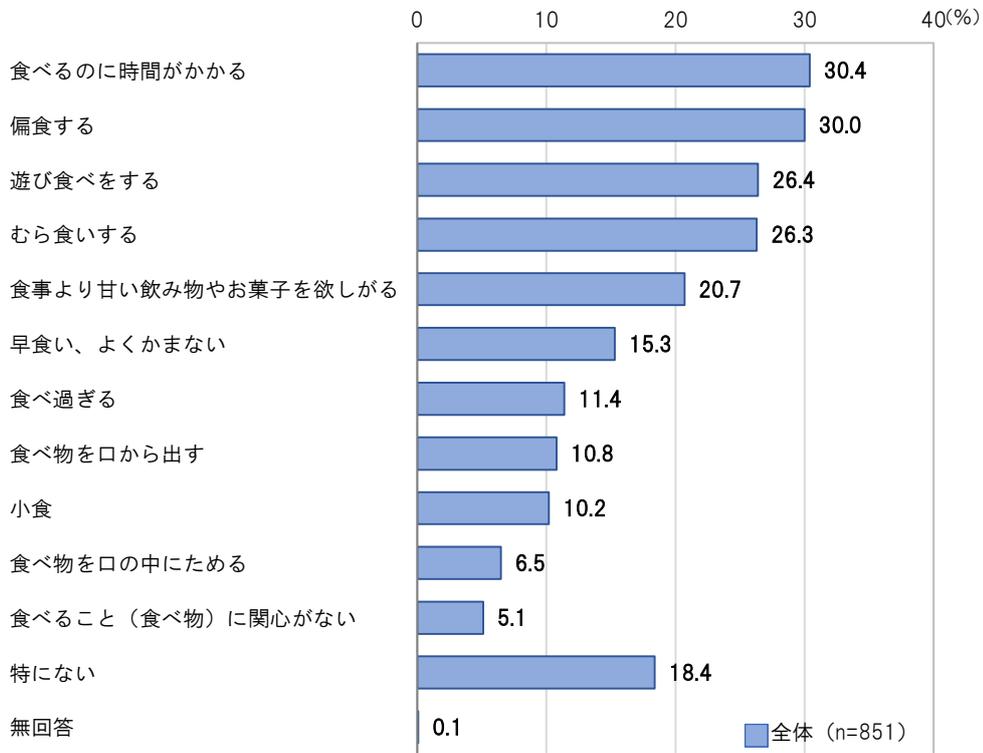
- 5歳の食事づくりの関わりを経年で比較すると、平成26年調査に比べて「いつも関わっている」が低くなっており、「関わっていない」がやや増加している。



(7) 子どもの食事で困っていること

問 11 現在、お子さまの食事で困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

・子どもの食事で困っていることは、「食べるのに時間がかかる」が 30.4%、「偏食する」が 30.0%と3割を占めて高く、次いで「遊び食べをする」(26.4%)、「むら食いする」(26.3%)の順となっている。



《年齢別》

・年齢別にみると、1歳半では「遊び食べをする」や「食べ過ぎる」、「食べ物を口から出す」が、3歳半では「食事より甘い飲み物やお菓子を欲しが」が高くなっている。また、3歳半・5歳で「食べるのに時間がかかる」、「偏食する」が、1歳半に比べて高くなっている。

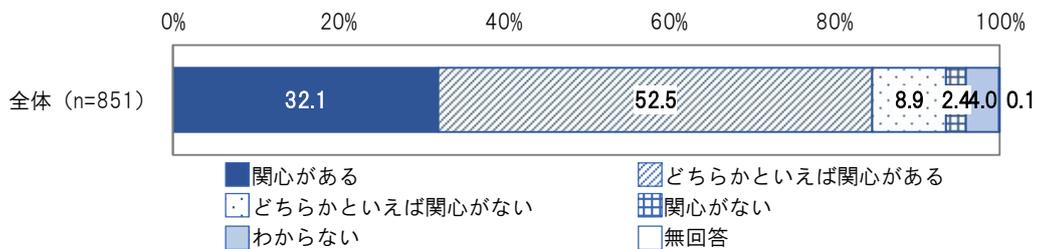
		回答者数(人)	食べるのに時間がかかる	偏食する	遊び食べをする	むら食いする	食事より甘い飲み物やお菓子を欲しが	早食い、よくかまない	食べ過ぎる	食べ物を口から出す	小食	食べ物を口の中にためる	食べること(食べ物)に関心がない	特にな	無回答
年齢別	1歳半	286	14.7	22.4	33.9	29.4	9.8	27.3	17.1	24.5	4.5	9.1	2.4	18.9	0.3
	3歳半	288	38.9	36.5	29.5	30.6	34.0	10.1	8.0	5.9	13.5	6.3	6.9	15.6	-
	5歳	270	38.1	31.5	15.6	19.3	18.1	8.5	8.9	1.9	12.2	3.7	5.6	21.1	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(8) 食育への関心

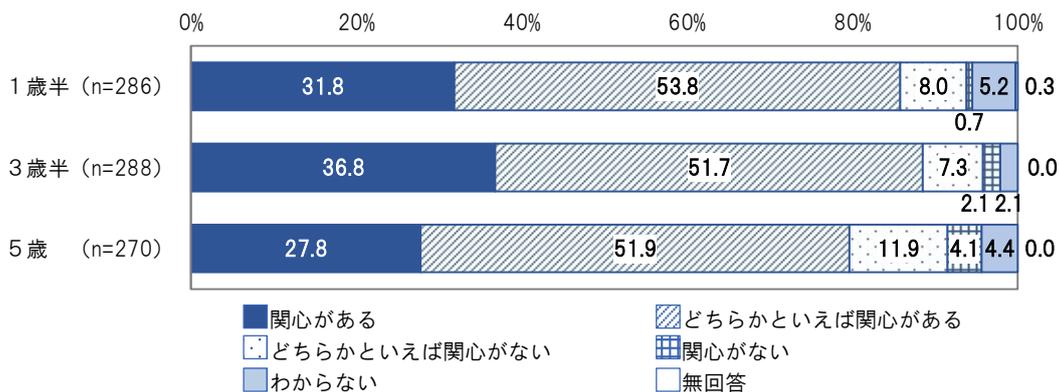
問 12 あなたは、食育に関心がありますか。(○は1つ)

- 食育への関心は、「どちらかといえば関心がある」が 52.5%と半数を超えて最も高く、「関心がある」(32.1%) と合わせると、『関心がある』が8割を超えている。
- 一方で、「どちらかといえば関心がない」(8.9%) と「関心がない」(2.4%) を合わせた『関心がない』は約1割となっている。



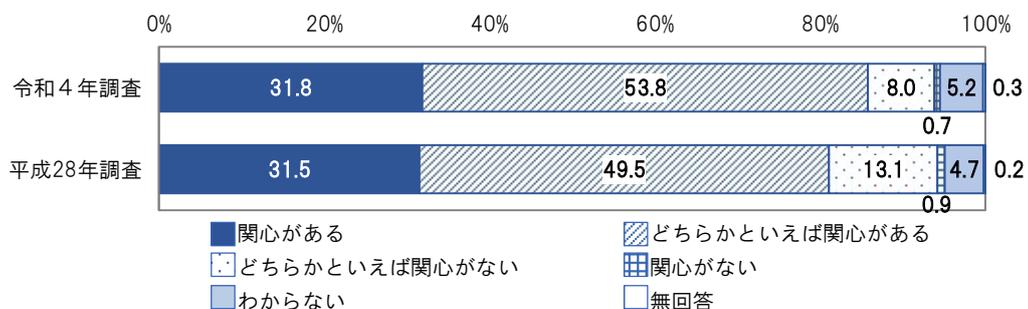
《年齢別》

- 年齢別にみると、『関心がある』が3歳半で 88.5%と9割近くを占めて最も高く、5歳で 79.7%と最も低くなっている。



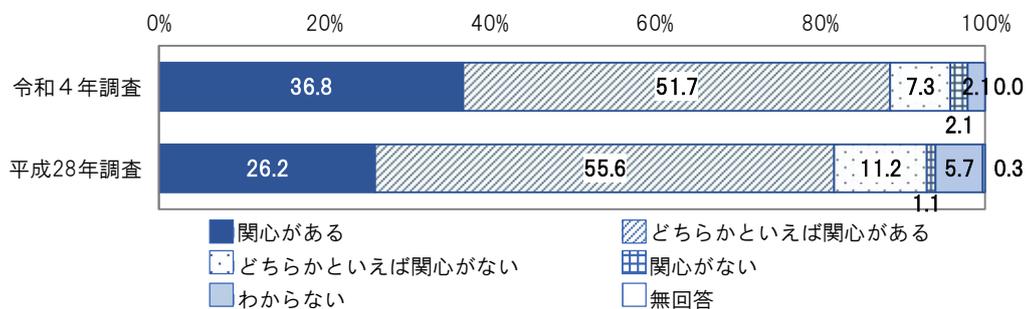
《経年比較 (1歳半)》

- 経年で比較すると、1歳半の保護者では、平成28年調査に比べて「どちらかといえば関心がある」が高くなっており、『関心がある』の割合が大きく増加している。



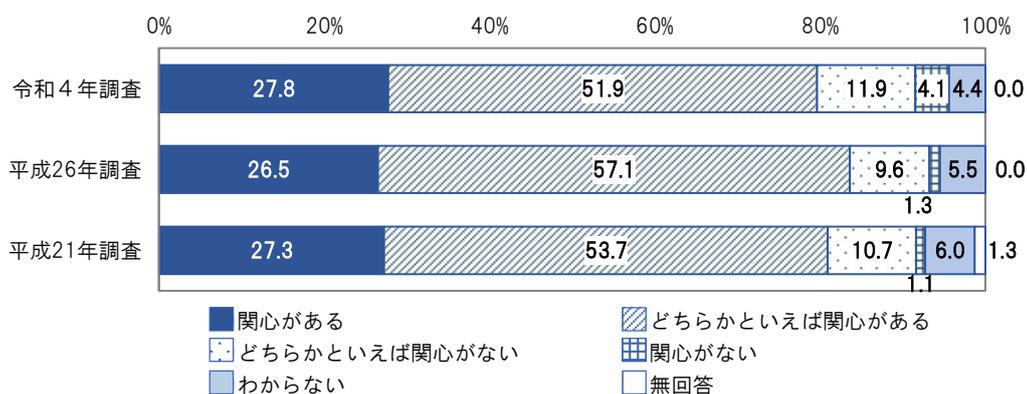
《経年比較（3歳半）》

- 経年で比較すると、3歳半の保護者では、平成28年調査に比べて「関心がある」が26.2%から36.8%と約10ポイント高くなっており、『関心がある』の割合が増加している。



《経年比較（5歳）》 ※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

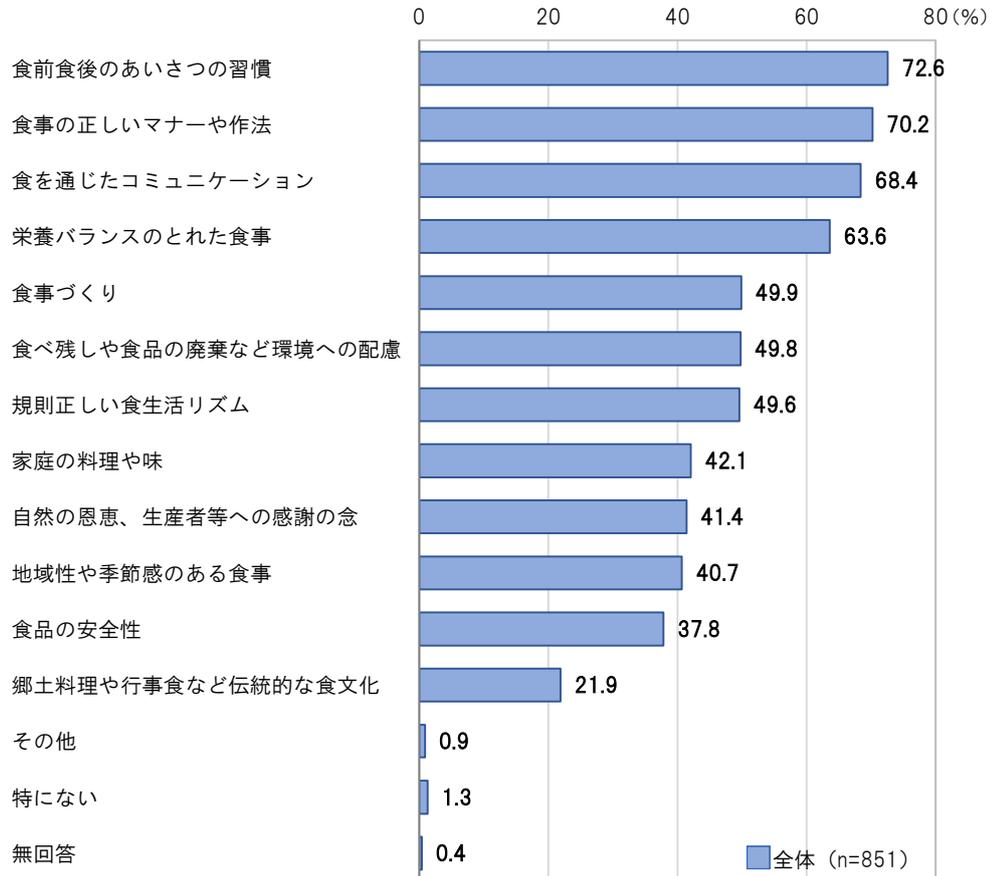
- 経年で比較すると、5歳の保護者では、大きな差異はみられない。



(9) 食育について次世代に伝えたいこと

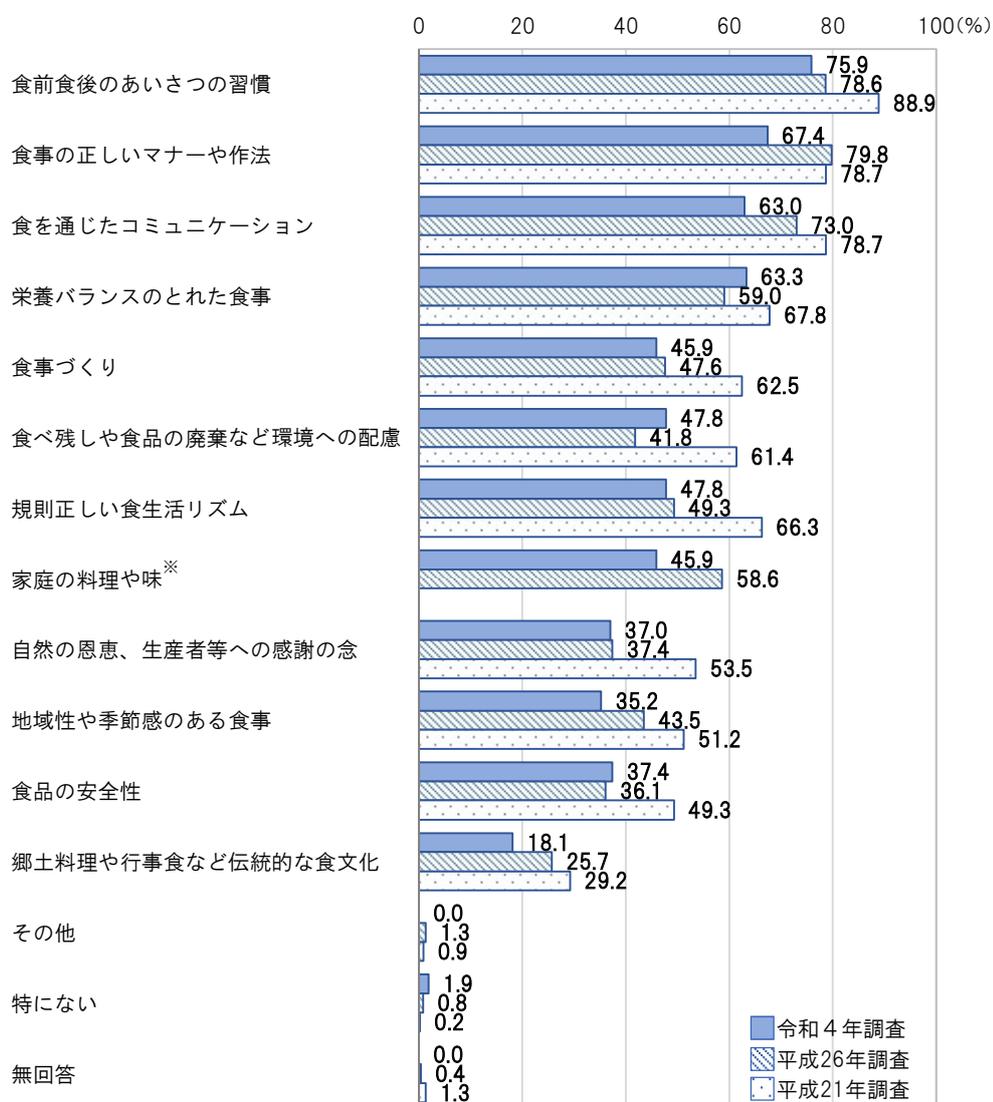
問 13 あなたが食育について大切に思い、次世代に伝えたいことはどのようなことですか。
(〇はあてはまるものすべて)

- 食育について次世代に伝えたいことは、「食前食後のあいさつの習慣」が72.6%と7割を超えて最も高く、次いで「食事の正しいマナーや作法」(70.2%)、「食を通じたコミュニケーション」(68.4%)、「栄養バランスのとれた食事」(63.6%)の順となっている。



《経年比較（5歳のみ）》※平成21年調査、平成26年調査は「食育市民アンケート調査」

- 5歳の保護者を経年で比較すると、「栄養バランスのとれた食事」や「食べ残しや食品の廃棄など環境への配慮」などで、平成26年調査から割合が高くなっている。



※「家庭の料理や味」は、平成26年調査・令和4年調査のみの項目

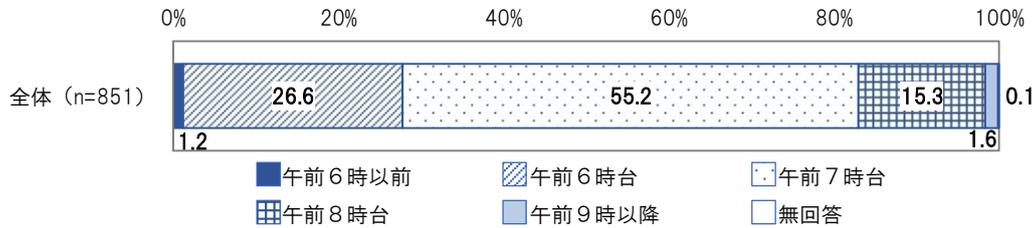
4. 子どもの睡眠や遊びについて

(1) 子どもの起床時刻・就寝時刻

問 14 普段、お子さまの起きる時間と寝る時間はそれぞれ何時ごろですか。

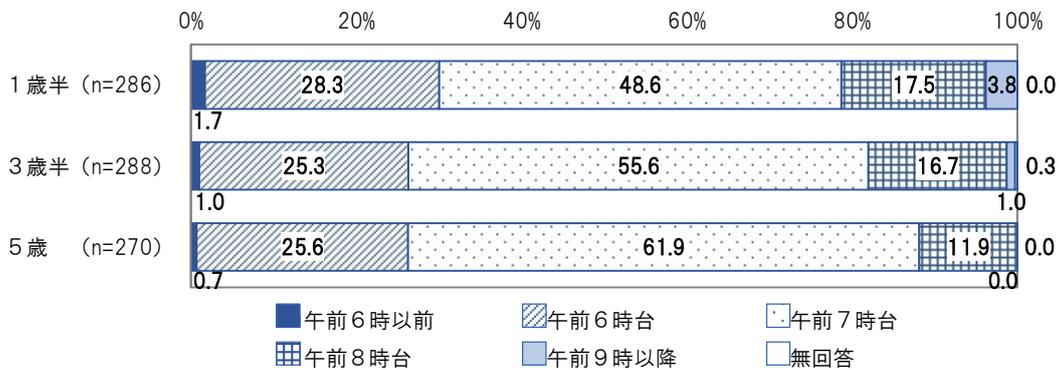
① 起床時刻

- 起床時刻は、「午前7時台」が55.2%と半数を超えて最も高く、次いで「午前6時台」(26.6%)、「午前8時台」(15.3%)の順となっている。



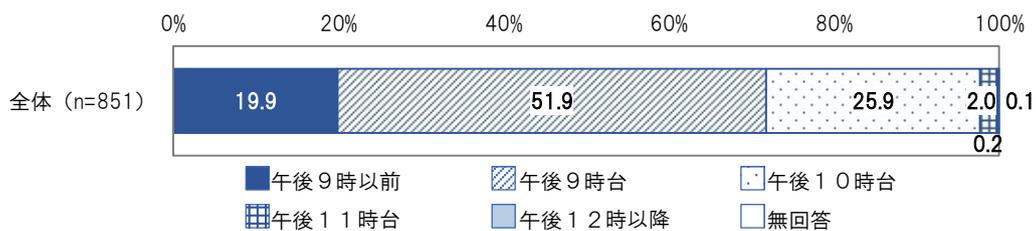
《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「午前7時台」が高くなっており、5歳では6割を超えている。



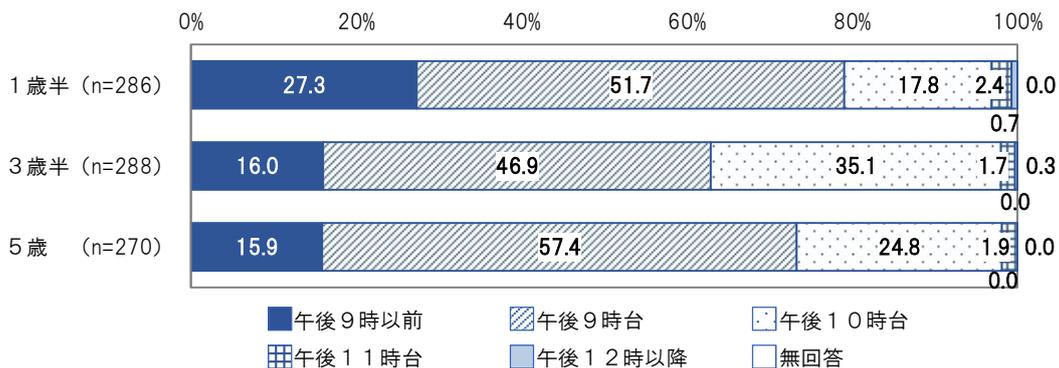
② 就寝時刻

- 就寝時刻は、「午後9時台」が51.9%と半数を超えて最も高く、次いで「午後10時台」(25.9%)、「午後9時以前」(19.9%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、3歳半で「午後10時台」が3割を超え、就寝時刻が遅くなっている。



(2) 子どもの睡眠の状況

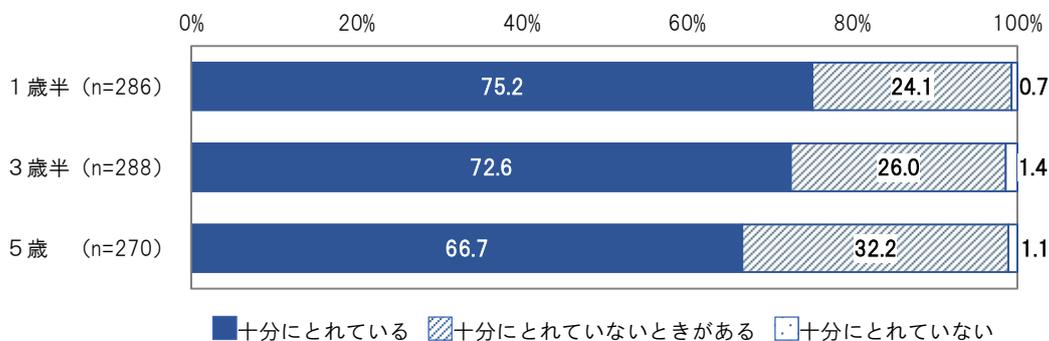
問15 お子さまは、睡眠が十分にとれていると思いますか。(○は1つだけ)

- 子どもの睡眠の状況は、「十分にとれている」が71.6%と7割を超えているものの、「十分にとれていないときがある」が27.4%と「十分にとれていない」(1.1%)と合わせると『とれていない』が3割近くを占めている。



《年齢別》

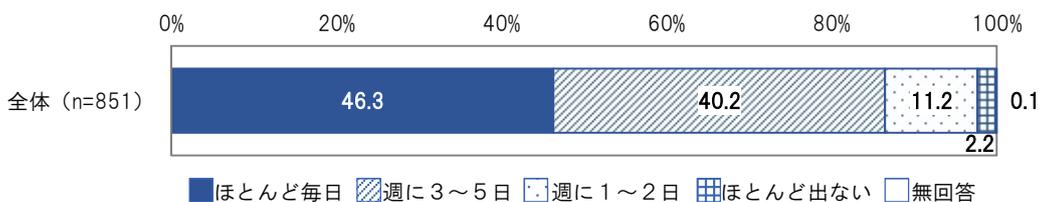
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「十分にとれていないときがある」が高くなっており、5歳では3割を超えている。



(3) 子どもの外遊びの頻度

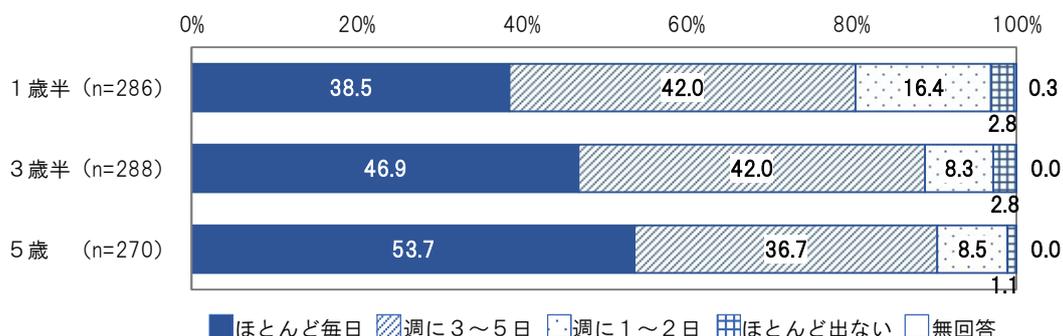
問16 ①お子さまは週に何日くらい、外で体を使って遊びますか。(○は1つだけ)

- 子どもの外遊びの頻度は、「ほとんど毎日」が46.3%と4割を超えて最も高く、次いで「週に3～5日」(40.2%)、「週に1～2日」(11.2%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ほとんど毎日」が高くなっており、5歳では半数を超えている。

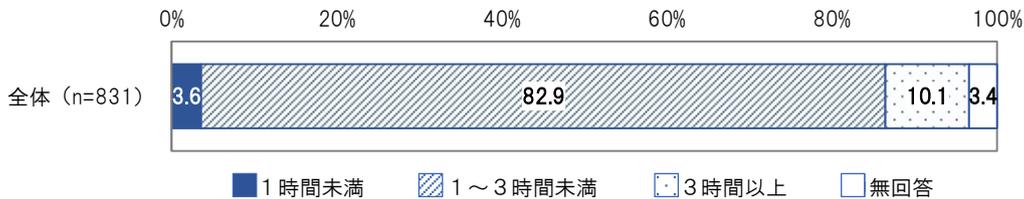


(3) -① 外遊びの時間

※ (3) で「ほとんど毎日」、「週に3～5日」、「週に1～2日」のいずれかを回答した人のみ

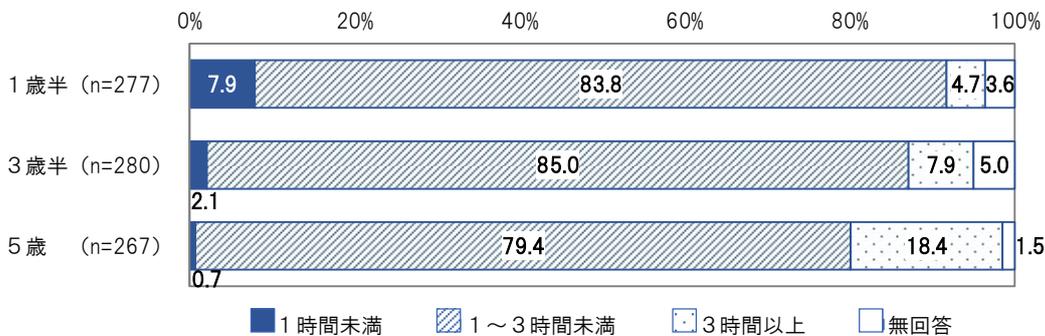
問 16 ②その時間はどのくらいですか。(時間数をご記入ください)

- ・外遊びをしている子どもの外遊びの時間は、「1～3時間未満」が82.9%と8割を超えて最も高く、次いで「3時間以上」(10.1%)となっている。



《年齢別》

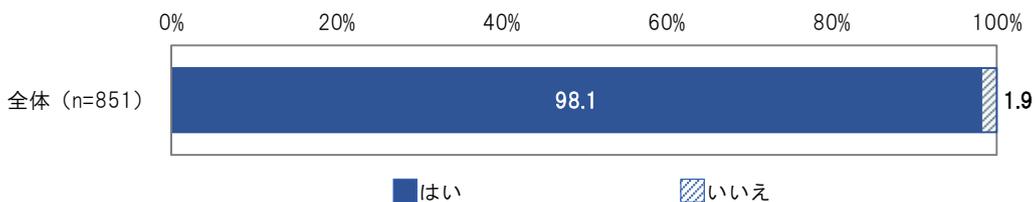
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「3時間以上」が高くなっており、5歳では2割近くを占めている。



(4) 1～2歳の子どもの指さしをすることの認知

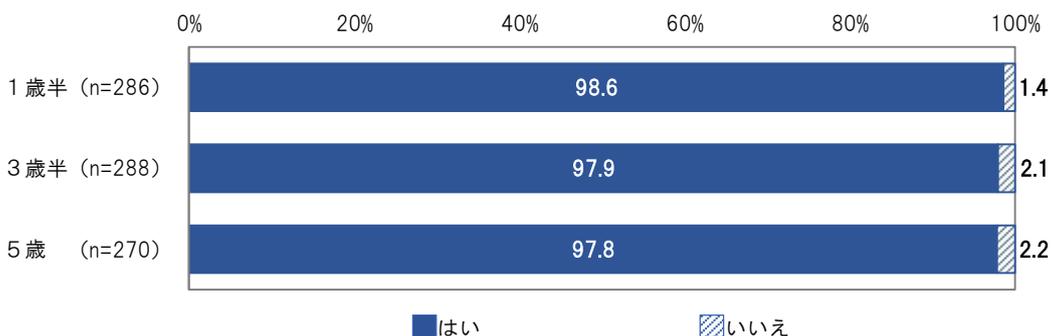
問 17 1歳から2歳頃までの多くの子どもは、「何かに興味を持った時、指さしで伝えようとする」ことを知っていますか。(○は1つだけ)

- ・1～2歳の子どもの指さしをすることの認知は、「はい(知っている)」が98.1%となっている。



《年齢別》

- ・年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(5) 3～4歳の子どもが遊びに加わろうとすることの認知

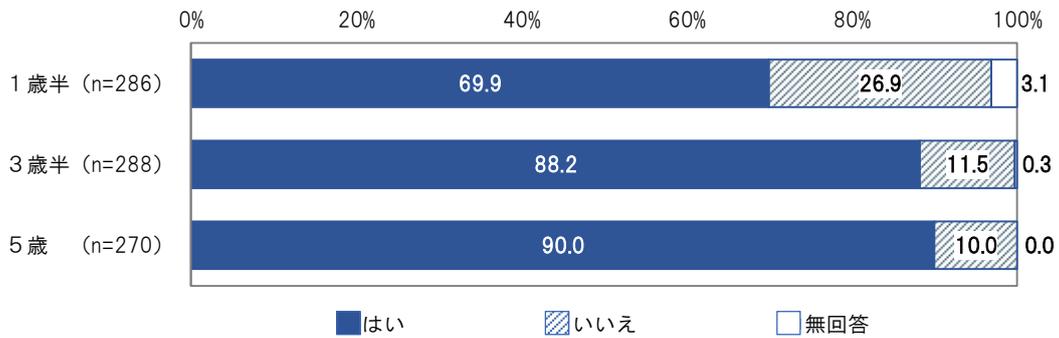
問 18 3歳から4歳頃までの多くの子どもは、「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っていますか。(〇は1つだけ)

- ・3～4歳の子どもが遊びに加わろうとすることの認知は、「はい（知っている）」が82.6%と8割を超えており、「いいえ（知らない）」は16.2%となっている。



《年齢別》

- ・年齢別にみると、該当年齢の3歳半・5歳においても「いいえ（知らない）」が1割程度となっている。

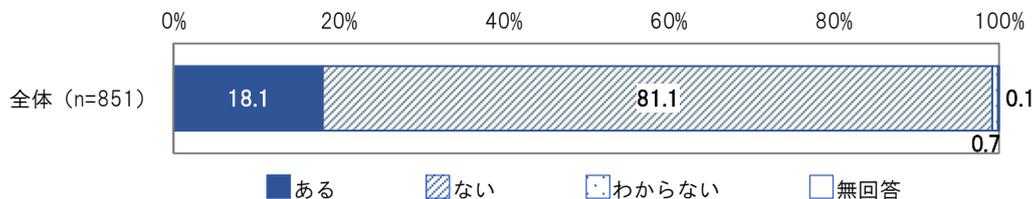


5. 子どもの歯について

(1) 歯科医院におけるむし歯の治療

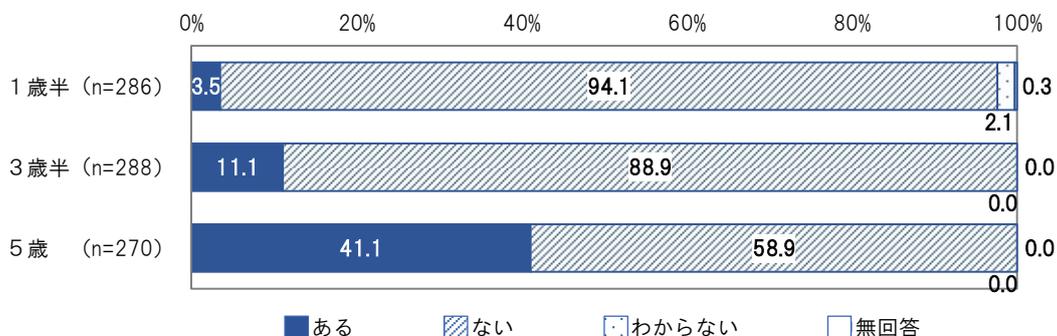
問 19 お子さまは、過去に歯科医院でむし歯の治療を受けたことがありますか。(○は1つだけ)

- ・ 歯科医院におけるむし歯の治療を、「(してい) ない」が 81.1%と8割を超えており、「(したこ) とが) ある」は2割程度 (18.1%) となっている。



《年齢別》

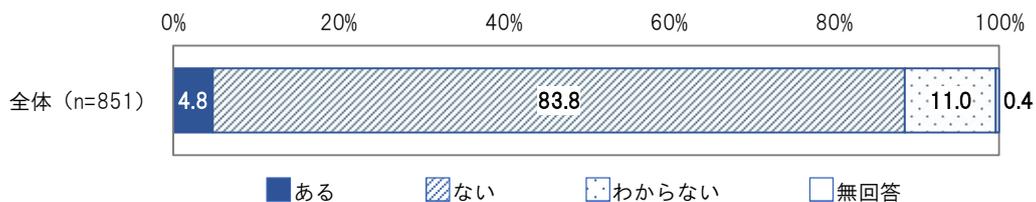
- ・ 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ある」が高くなっており、5歳では 41.1%と4割を超えている。



(2) 未治療のむし歯

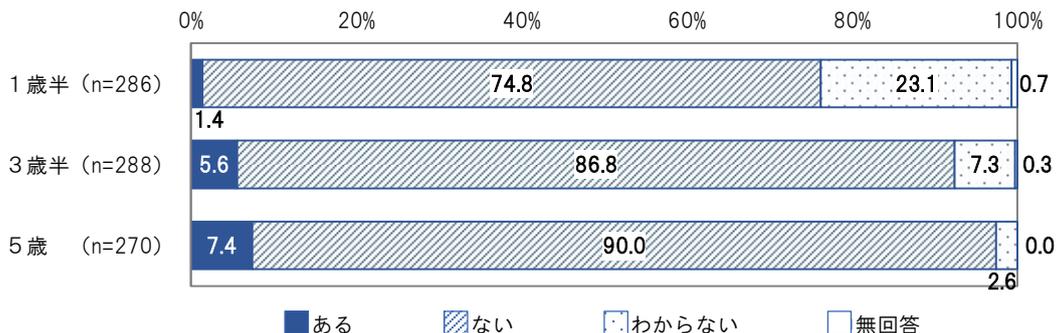
問 20 お子さまは、現在、まだ治療していないむし歯がありますか。(○は1つだけ)

- ・ 未治療のむし歯は、「ない」が 83.8%と8割を超えており、「ある」は1割未満 (4.8%) となっている。



《年齢別》

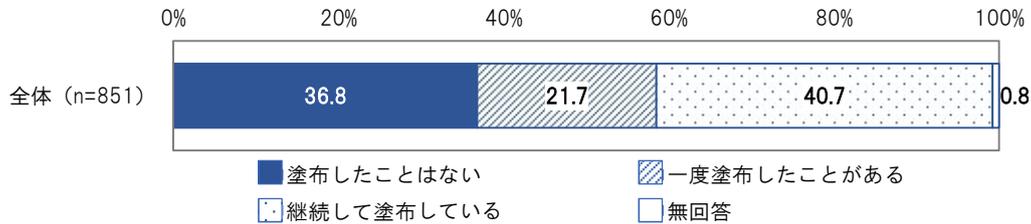
- ・ 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「ある」がやや高くなっており、5歳では 7.4%と1割近くとなっている。また、1歳半では「わからない」が 23.1%と2割を超えている。



(3) フッ素塗布の有無

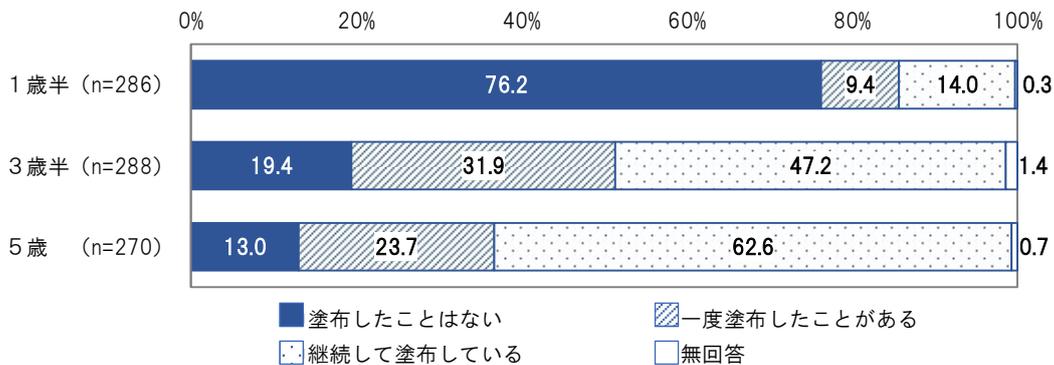
問 21 ①お子さまは、フッ素塗布を受けたことがありますか。(○は1つだけ)

- ・フッ素塗布の有無は、「継続して塗布している」が 40.7%と約4割を占めて最も高く、「一度塗布したことがある」(21.7%) と合わせると『塗布したことがある』が約6割、「塗布したことはない」が 36.8%となっている。



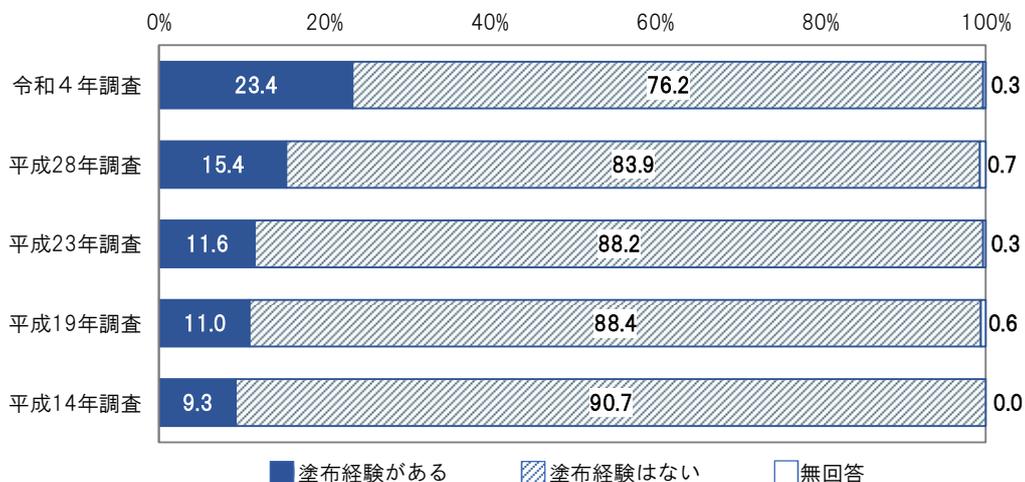
《年齢別》

- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「継続して塗布している」が高くなっており、5歳では 62.6%と6割を超えている。



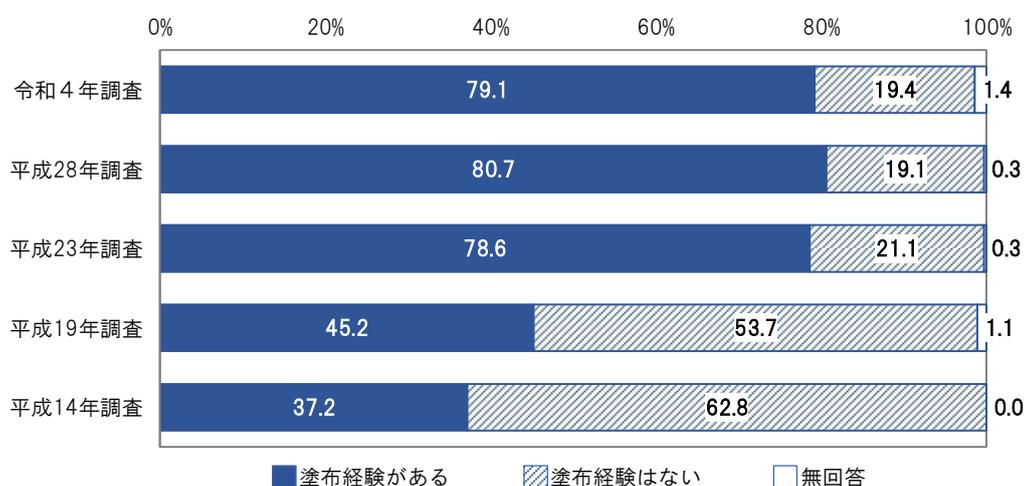
《経年比較(1歳半)》

- ・1歳半のフッ素塗布経験を経年で比較すると、年々「塗布経験がある」(「一度塗布したことがある」+「継続して塗布している」)が増加傾向となっている。



《経年比較（3歳半）》

- ・3歳半のフッ素塗布経験を経年で比較すると、「塗布経験がある」（「一度塗布したことがある」＋「継続して塗布している」）は、平成23年以降は8割程度で推移している。

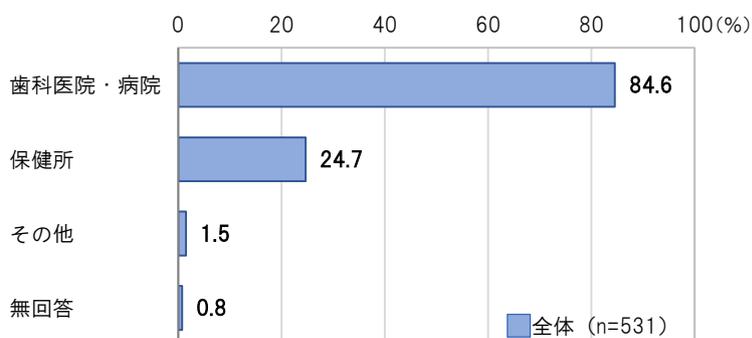


(3) -① フッ素塗布を受けたところ

※ (3) で「一度塗布したことがある」または「継続して塗布している」と回答した人のみ

問21 ②どこで受けられましたか。(〇はあてはまるものすべて)

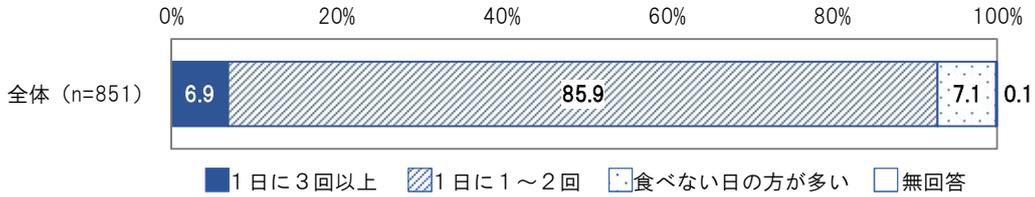
- ・フッ素塗布を受けたところは、「歯科医院・病院」が84.6%と8割を超えて最も高く、次いで「保健所」(24.7%) となっている。



(4) 1日あたりのおやつ頻度

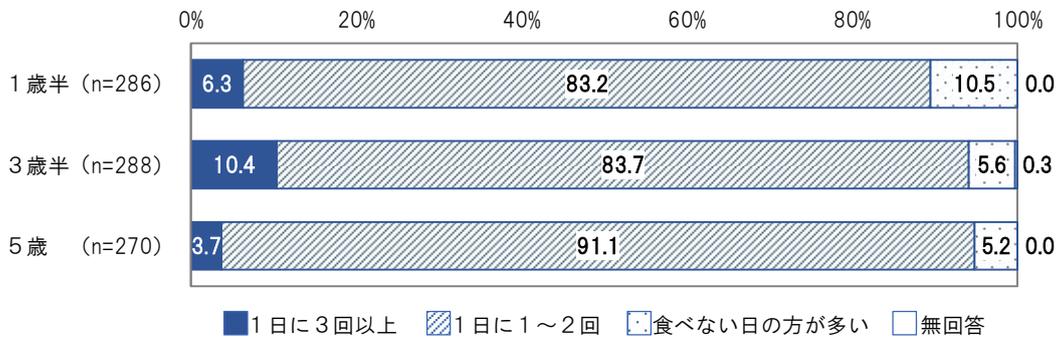
問 22 おやつ（ジュース等含む）は、1日何回ですか。（○は1つだけ）

・1日あたりのおやつ頻度は、「1日に1～2回」が85.9%と8割を超えて最も高くなっている。



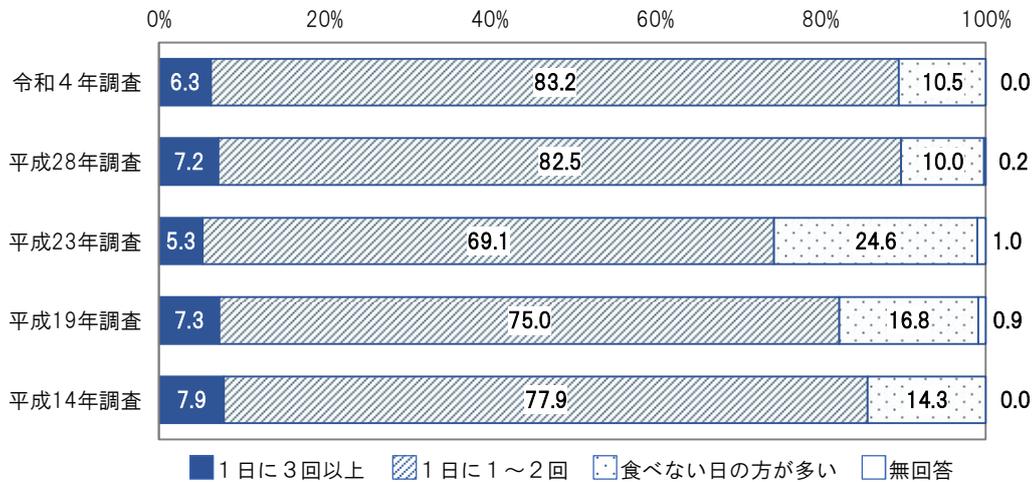
《年齢別》

・年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「食べない日の方が多い」が高くなっており、1歳半では約1割となっている。また、3歳半では「1日に3回以上」が10.4%と約1割を占め、その他の年齢に比べて高くなっている。



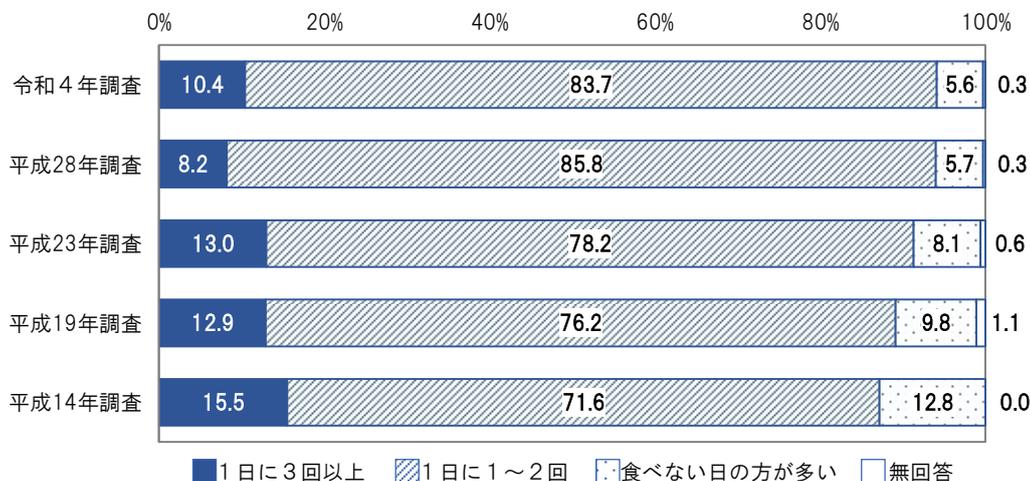
《経年比較（1歳半）》

・1歳半の1日あたりのおやつ頻度を経年で比較すると、平成28年調査とは大きな差異はみられない。



《経年比較（3歳半）》

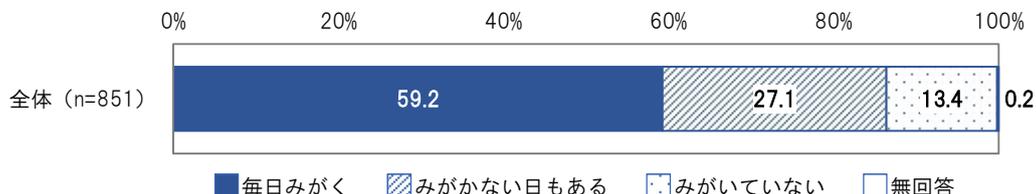
- ・3歳半の1日あたりのおやつ頻度を経年で比較すると、「食べない日の方が多い」の割合が年々減少傾向となっており、『1日に1回以上』の割合が増加している。



(5) 歯みがきの状況

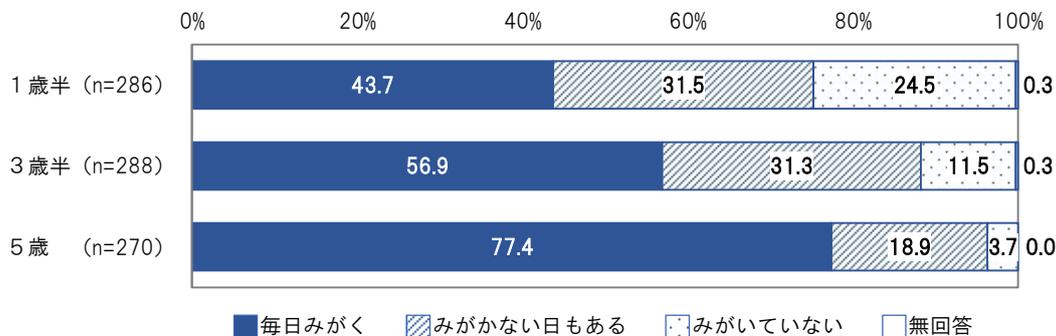
問23 お子さまは、自分で歯みがきをしていますか。(○は1つだけ)

- ・歯みがきの状況は、「毎日みがく」が59.2%と約6割を占めているものの、次いで「みがかない日もある」(27.1%)、「みがいていない」(13.4%)となっている。



《年齢別》

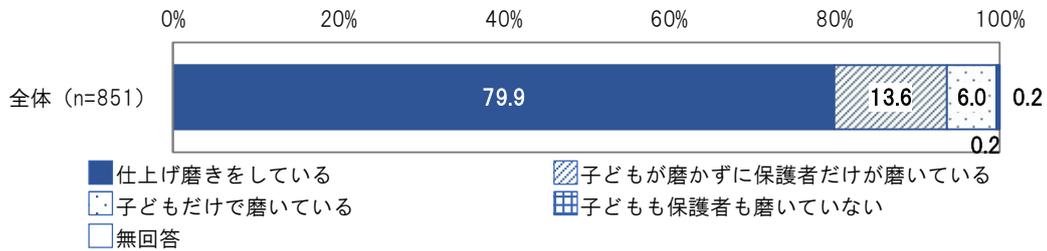
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「毎日みがく」が高くなっており、5歳では77.4%と8割近くを占めている。



(6) 仕上げ磨きの状況

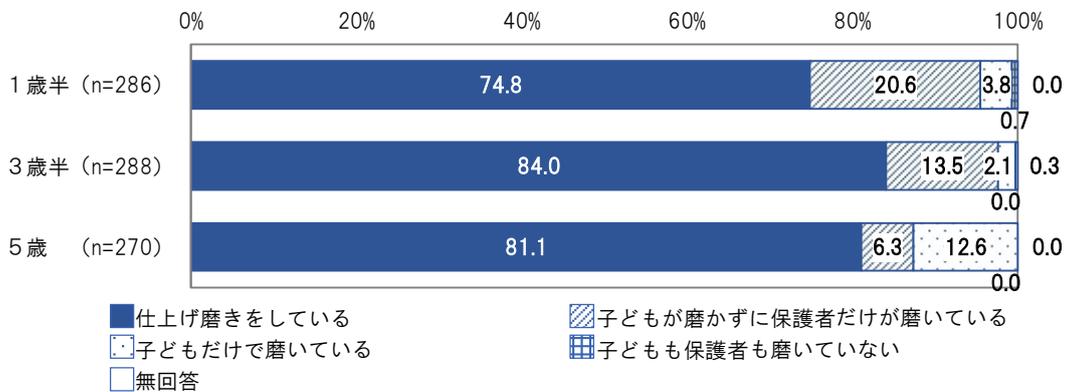
問 24 保護者が毎日お子さまに仕上げ磨きをしていますか。(○は1つだけ)

・仕上げ磨きの状況は、「仕上げ磨きをしている」が79.9%と約8割を占めている。



《年齢別》

・年齢別にみると、1歳半では「子どもが磨かずに保護者だけが磨いている」、3歳半では「仕上げ磨きをしている」、5歳では「子どもだけで磨いている」が、他の年齢に比べて高くなっている。



(7) フッ素入りの歯みがき剤やジェル等の使用状況

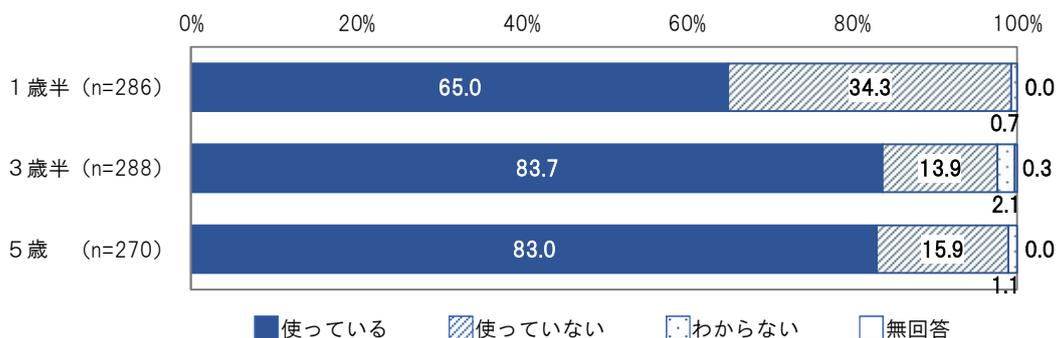
問 25 お子さまにフッ素入りの歯みがき剤やジェル等を使っていますか。(○は1つだけ)

・フッ素入りの歯みがき剤やジェル等の使用状況は、「使っている」が77.0%と8割近くを占めており、「使っていない」は2割程度(21.6%)となっている。



《年齢別》

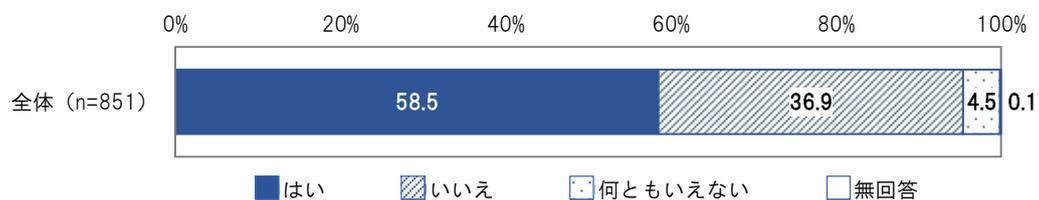
・年齢別にみると、3歳半・5歳では「使っている」が8割を超えている。



(8) かかりつけ歯科医師の有無

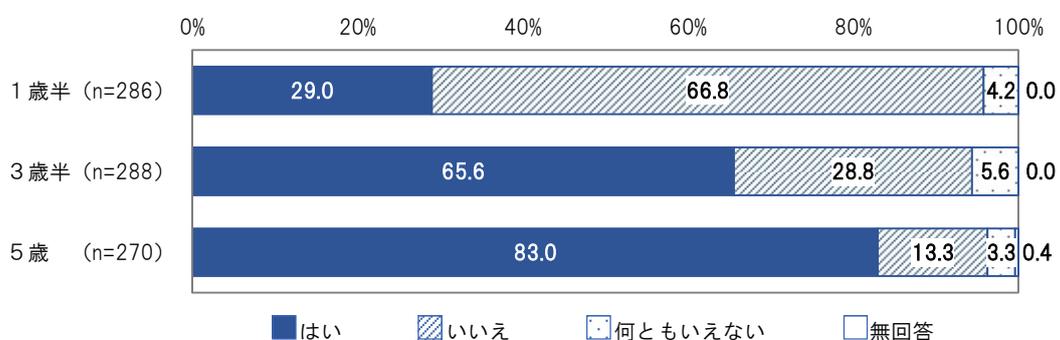
問 26 かかりつけの歯科医師はいますか。(○は1つだけ)

- かかりつけ歯科医師は、「はい (いる)」が 58.5%と6割近くを占めており、「いいえ (いない)」は 36.9%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい (いる)」が高くなっており、5歳では8割を超えている。

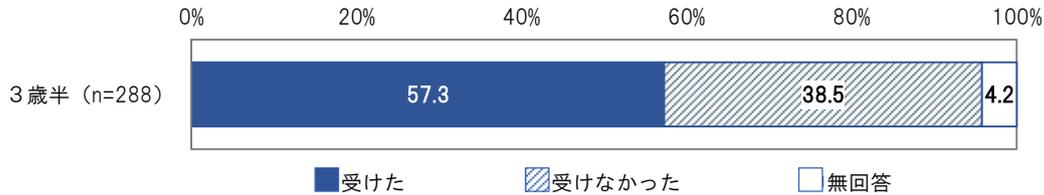


(9) 2歳児親子歯科健診の受診状況（3歳半のみ）

3歳6か月児健診を受診される保護者の方におたずねします。

問27 ①お子さまは、保健所での「2歳児親子歯科健診」を受けましたか。（○は1つだけ）

- ・3歳半の2歳児親子歯科健診の受診状況は、「受けた」が57.3%と6割近くを占め、「受けなかった」は38.5%となっている。

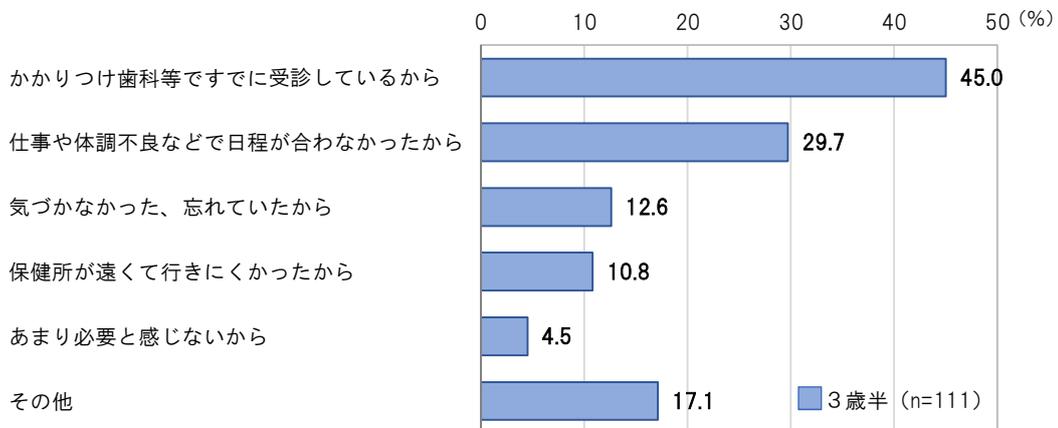


(9) -① 2歳児親子歯科健診を受けなかった理由（3歳半のみ）

※ (9) で「受けなかった」と回答した人のみ

問27 ②受けなかった理由を教えてください。（○はあてはまるものすべて）

- ・2歳児親子歯科健診を受けなかった理由は、「かかりつけ歯科等ですでに受診しているから」が45.0%と4割を超えて最も高く、次いで「仕事や体調不良などで日程が合わなかったから」(29.7%) となっている。



6. 子どもを妊娠中のときの状況について

(1) 妊娠の経緯

問 28 お子さまを妊娠した経緯について、あてはまるものをお答えください。(○は1つだけ)

- 妊娠の経緯は、「自然に妊娠した」が85.2%と8割を超えており、「不妊治療を受けて妊娠した」は14.5%となっている。



(1) -① 自然妊娠の経緯

※ (1) で「自然に妊娠した」と回答した人のみ

問 28 お子さまを自然妊娠した経緯について、あてはまるものをお答えください。(○は1つだけ)

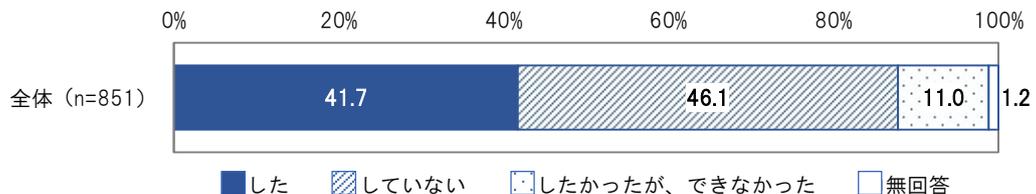
- 自然妊娠の経緯は、「計画的に妊娠した」が70.5%と約7割を占めており、「予定外の妊娠をした」は27.2%となっている。



(2) マタニティセミナーの受講

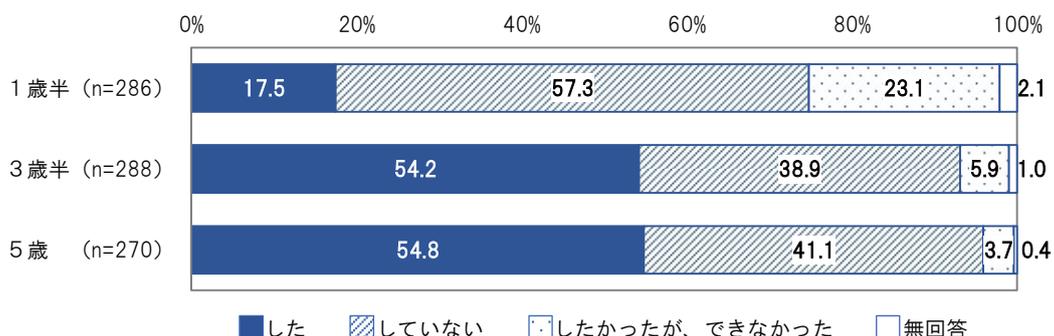
問 29 マタニティセミナーを受講しましたか。(○は1つだけ)

- マタニティセミナーの受講は、「していない」が46.1%と高く、「したかったが、できなかった」(11.0%)と合わせると『していない』が6割近くを占めている。
- 「した」は、4割程度(41.7%)となっている。



《年齢別》

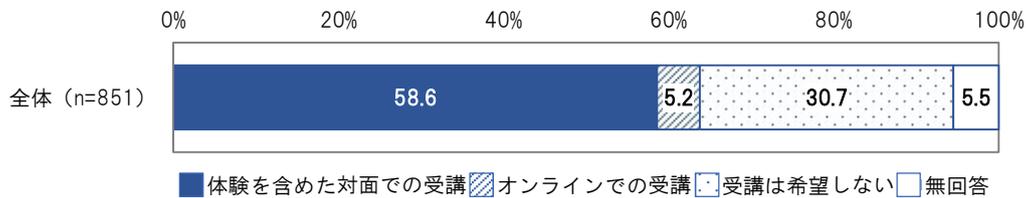
- 年齢別にみると、3歳半・5歳では「した」が半数を超えているのに対し、1歳半では2割未満となっている。また、1歳半では「したかったが、できなかった」が2割を超えている。



(3) 希望するマタニティセミナーの受講方法

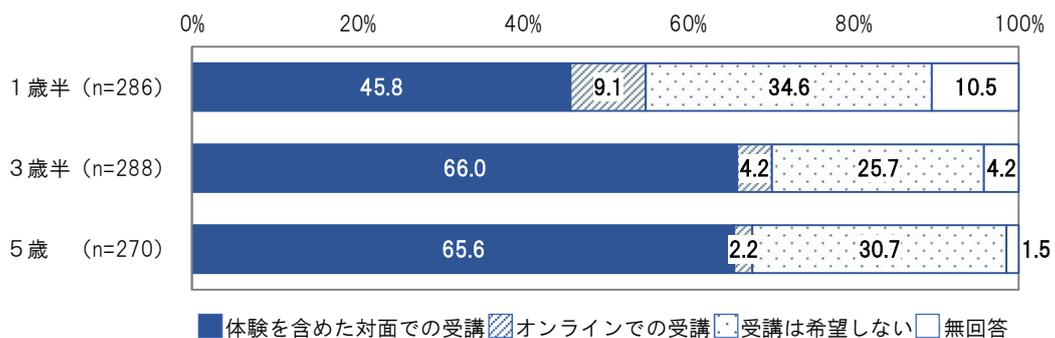
問 30 ①どのような方法で、マタニティセミナーを受講したかったですか。(〇は1つだけ)

- 希望するマタニティセミナーの受講方法は、「体験を含めた対面での受講」が58.6%と6割近くを占めて最も高く、「オンラインでの受講」が5.2%となっている。
- 一方で、「受講は希望しない」が30.7%と約3割を占めている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、すべての年齢で「体験を含めた対面での受講」が最も高くなっているものの、年齢が下がるにつれて「オンラインでの受講」が高くなっており、1歳半では約1割となっている。

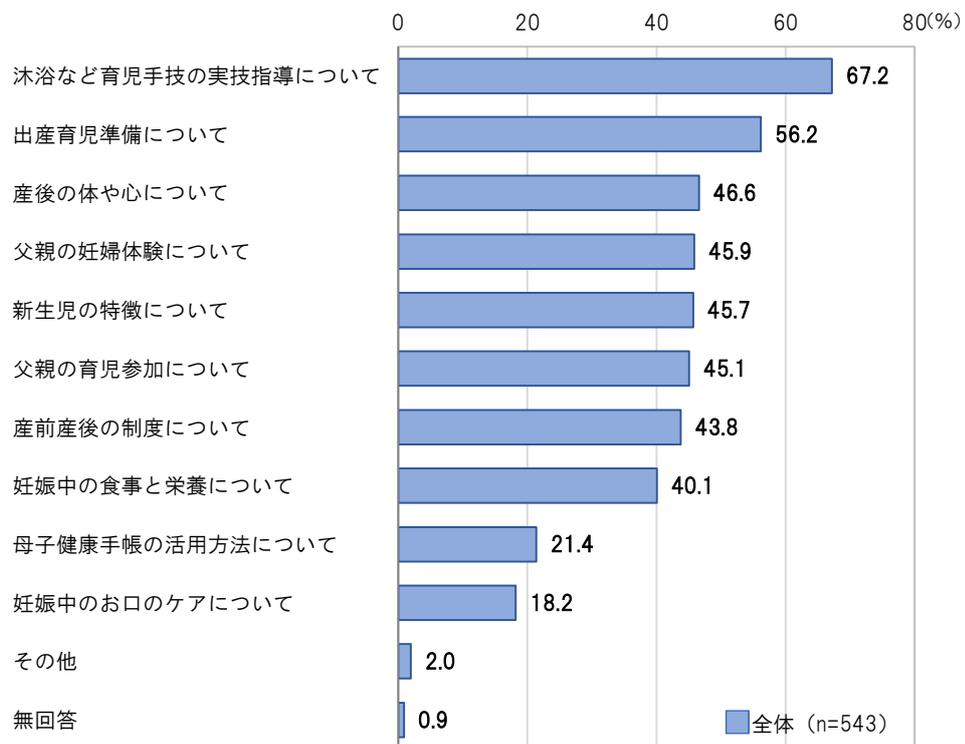


(3) -① マタニティセミナーで受講したかった内容

※ (3) で「体験を含めた対面での受講」または「オンラインでの受講」と回答した人のみ

問 30 ② マタニティセミナーで受講したかった内容は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- マタニティセミナーで受講したかった内容は、「沐浴など育児手技の実技指導について」が67.2%と7割近くを占めて最も高く、次いで「出産育児準備について」(56.2%)、「産後の体や心について」(46.6%)、「父親の妊婦体験について」(45.9%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「父親の妊婦体験について」や「父親の育児参加について」などが高くなる傾向がみられる。

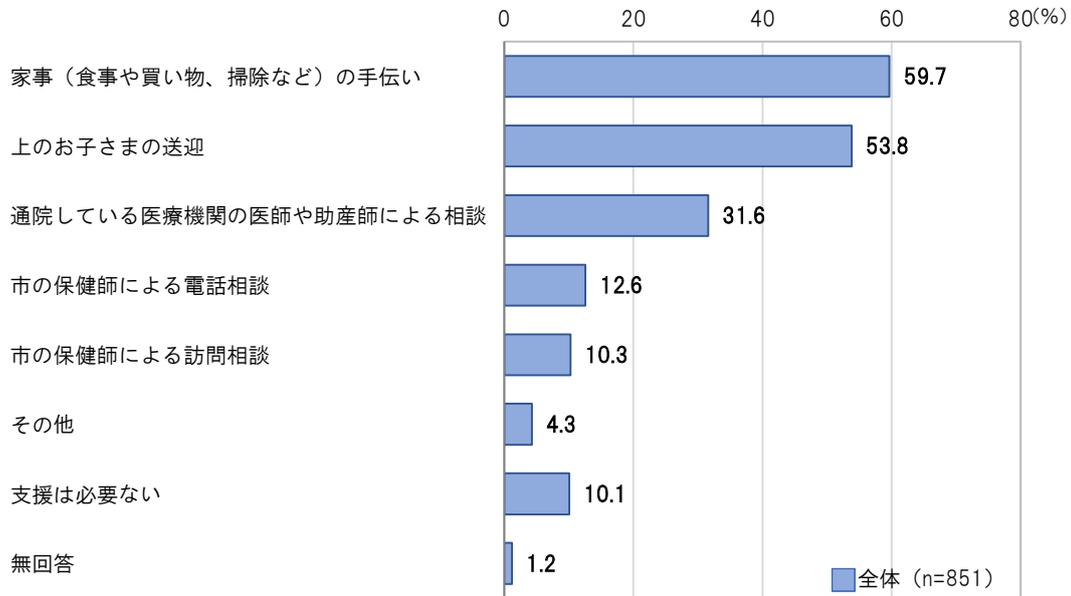
		回答者数 (人)	沐浴など育児手技の実技指導について	出産育児準備について	産後の体や心について	父親の妊婦体験について	新生児の特徴について	父親の育児参加について	産前産後の制度について	妊娠中の食事と栄養について	母子健康手帳の活用方法について	妊娠中のお口のケアについて	その他	無回答
年齢別	1歳半	157	63.7	59.2	46.5	51.6	52.9	52.9	44.6	43.9	22.9	18.5	1.9	-
	3歳半	202	66.8	53.5	46.5	47.0	40.1	43.1	44.6	38.1	19.3	18.3	1.5	1.0
	5歳	183	71.0	56.8	47.0	39.9	45.9	41.0	42.6	38.8	22.4	18.0	2.7	1.6

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(4) 妊娠中にあればよいと思う支援

問 31 妊娠中にどのような支援があればよいと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 妊娠中にあればよいと思う支援は、「家事（食事や買い物、掃除など）の手伝い」が59.7%と約6割を占めて最も高く、次いで「上のお子さまの送迎」（53.8%）、「通院している医療機関の医師や助産師による相談」（31.6%）の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「通院している医療機関の医師や助産師による相談」が高くなる傾向がみられる。

		(%)								
		回答者数 (人)	家事（食事や買い物、掃除など）の手伝い	上のお子さまの送迎	通院している医療機関の医師や助産師による相談	市の保健師による電話相談	市の保健師による訪問相談	その他	支援は必要ない	無回答
年齢別	1歳半	286	57.7	50.3	35.0	10.8	8.7	4.5	11.2	1.4
	3歳半	288	63.5	57.3	31.3	15.6	11.5	5.6	8.3	0.7
	5歳	270	58.5	54.4	28.5	11.5	11.1	2.6	10.7	1.1

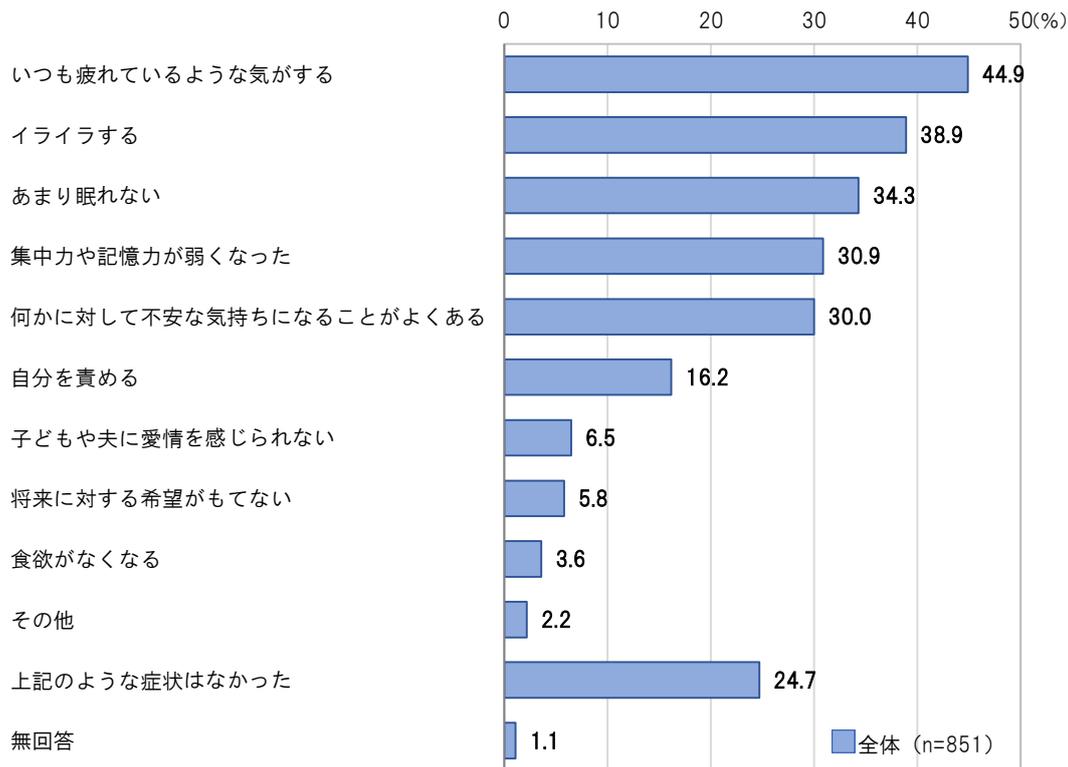
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

7. 子どもを出産後のときの状況について

(1) 出産後1年くらいのあいだにあった症状

問 32 今回の出産後1年くらいのあいだに、次にあげるような症状がありましたか。
(○はあてはまるものすべて)

- 出産後1年くらいのあいだにあった症状は、「いつも疲れているような気がする」が44.9%と4割を超えて最も高く、次いで「イライラする」(38.9%)、「あまり眠れない」(34.3%)、「集中力や記憶力が弱くなった」(30.9%)、「何かに対して不安な気持ちになることがよくある」(30.0%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「イライラする」や「集中力や記憶力が弱くなった」などが高くなる傾向がみられる。

		回答者数 (人)	いつも疲れているような気がする	イライラする	あまり眠れない	集中力や記憶力が弱くなった	何かに対して不安な気持ちになることがよくある	自分を責める	子どもや夫に愛情を感じられない	将来に対する希望がもてない	食欲がなくなる	その他	上記のような症状はなかった	無回答
年齢別	1歳半	286	44.1	42.3	33.2	39.5	23.4	16.1	5.9	7.0	5.2	2.4	22.7	1.0
	3歳半	288	47.9	38.5	34.4	31.9	34.4	15.6	6.3	5.2	3.5	2.4	24.0	1.4
	5歳	270	43.3	35.6	34.8	20.0	31.9	16.7	7.4	4.8	2.2	1.9	28.1	0.4

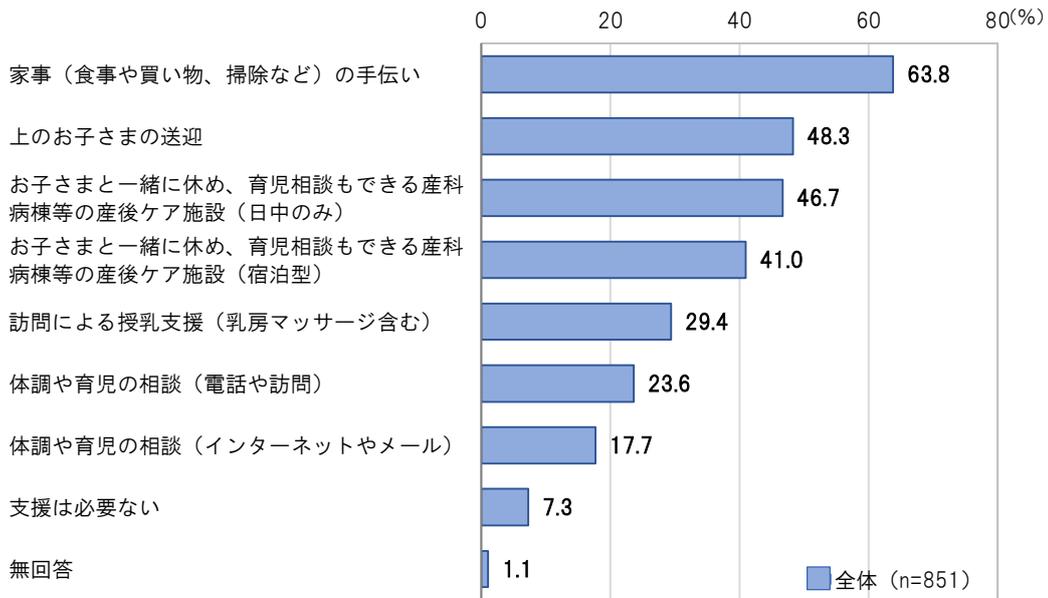
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(2) 出産後1年の間にあればよい支援

問 33 出産後1年の間にどのような支援があればよいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- 出産後1年の間にあればよい支援は、「家事（食事や買い物、掃除など）の手伝い」が63.8%と6割を超えて最も高く、次いで「上のお子さまの送迎」（48.3%）、「お子さまと一緒に休め、育児相談もできる産科病棟等の産後ケア施設（日中のみ）」（46.7%）、「お子さまと一緒に休め、育児相談もできる産科病棟等の産後ケア施設（宿泊型）」（41.0%）の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「上のお子さまの送迎」、年齢が下がるにつれて「お子さまと一緒に休め、育児相談もできる産科病棟等の産後ケア施設（宿泊型）」や「訪問による授乳支援（乳房マッサージ含む）」などが高くなる傾向がみられる。

		回答者数 (人)	家事（食事や買い物、掃除など）の手伝い	上のお子さまの送迎	お子さまと一緒に休め、育児相談もできる産科病棟等の産後ケア施設（日中のみ）	お子さまと一緒に休め、育児相談もできる産科病棟等の産後ケア施設（宿泊型）	訪問による授乳支援（乳房マッサージ含む）	体調や育児の相談（電話や訪問）	体調や育児の相談（インターネットやメール）	支援は必要ない	無回答
年齢別	1歳半	286	64.7	44.8	48.6	42.7	32.2	23.4	16.8	9.1	1.4
	3歳半	288	68.1	49.3	48.6	42.0	29.9	22.9	19.8	5.9	1.0
	5歳	270	58.9	50.7	42.6	38.5	25.9	23.7	16.7	6.7	0.7

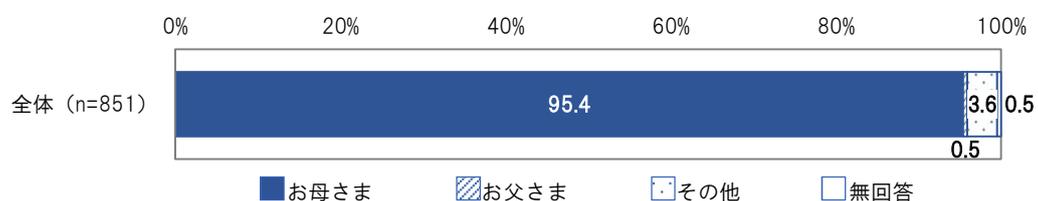
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

8. 育児の様子について

(1) 主に子育てをしている人

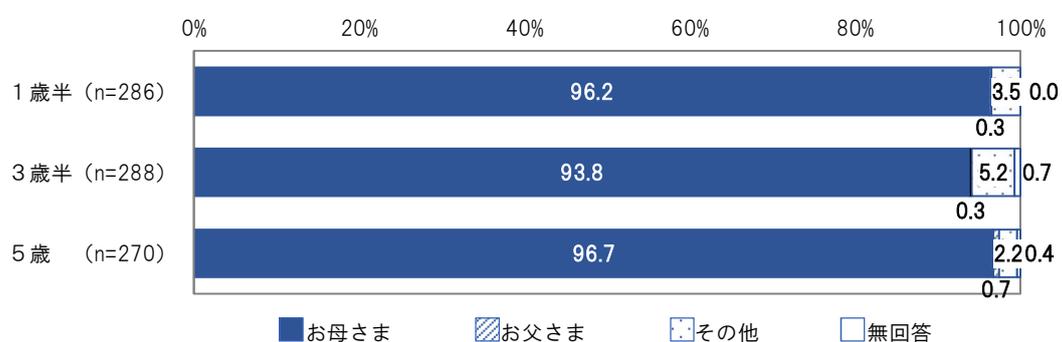
問 34 主に子育てしているのはどなたですか。(○は1つだけ)

- 主に子育てをしている人は、「お母さま」が95.4%と大半を占めている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(2) ゆったりとした気分で子どもとすごせる時間

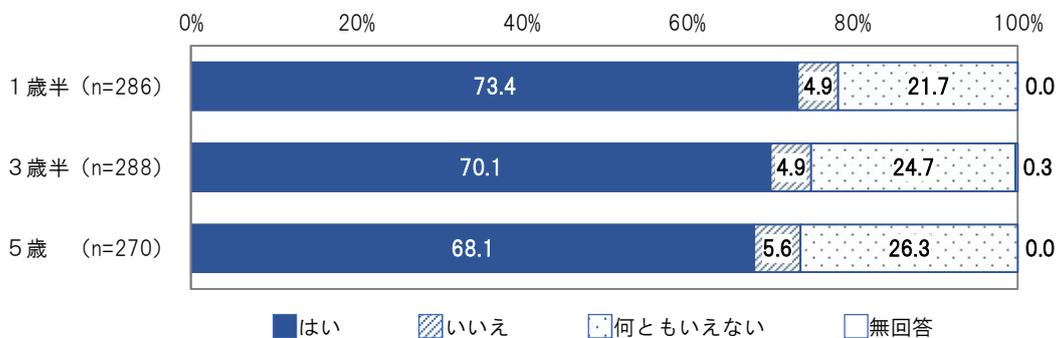
問 35 あなたは、ゆったりとした気分でお子さまとすごせる時間がありますか。(○は1つだけ)

- ゆったりとした気分で子どもとすごせる時間は、「はい(ある)」が70.3%と約7割を占めており、「いいえ(ない)」は5.3%となっている。



《年齢別》

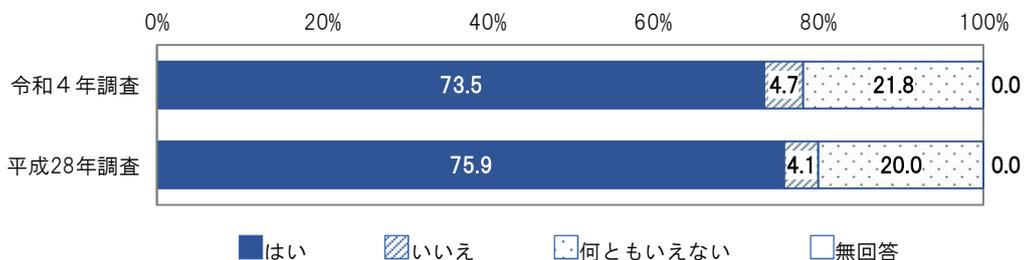
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい(ある)」が低くなっており、1歳半では73.4%と7割を超えているのに対し、5歳では68.1%と7割未満となっている。



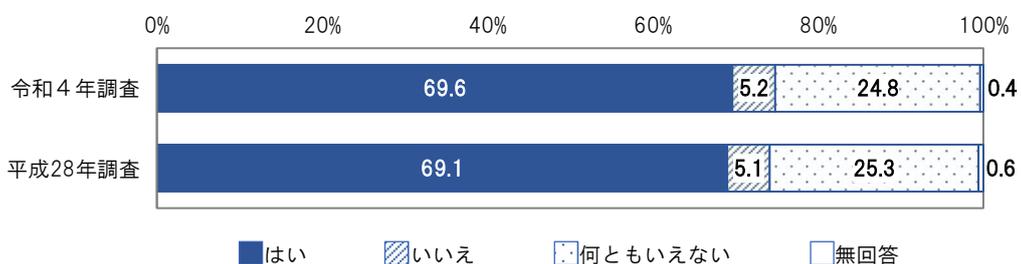
《経年比較》 ※子育てをしているのが「母親」と回答した人のみ

- 母親の状況について、平成28年調査と比較すると、1歳半では「はい(ある)」がやや減少しているものの、大きな差異はみられない。3歳半では、平成28年調査とほぼ同様の結果となっている。

1歳半



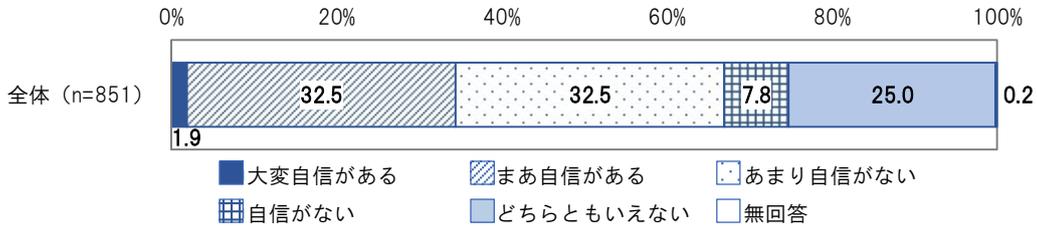
3歳半



(3) 子育てへの自信

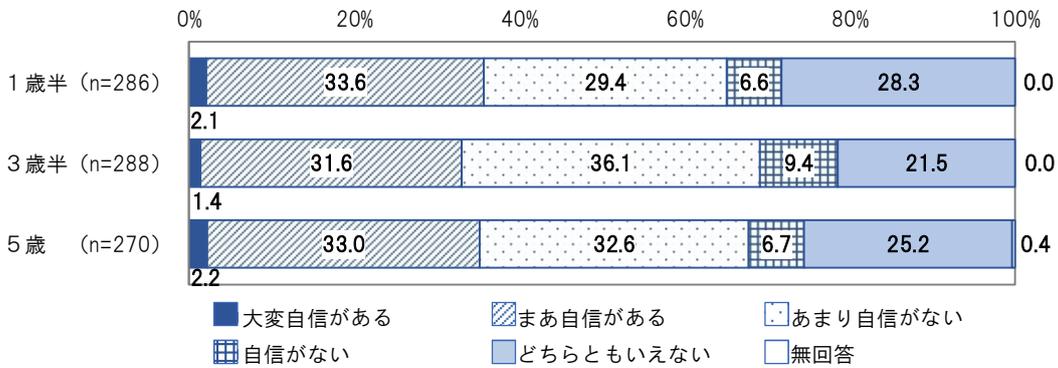
問 36 あなたは、子育てに自信がありますか。(○は1つだけ)

- 子育てへの自信は、「あまり自信がない」(32.5%)と「自信がない」(7.8%)を合わせた『自信がない』が約4割を占め、『自信がある』(「大変自信がある」+「まあ自信がある」:34.4%)を上回っている。



《年齢別》

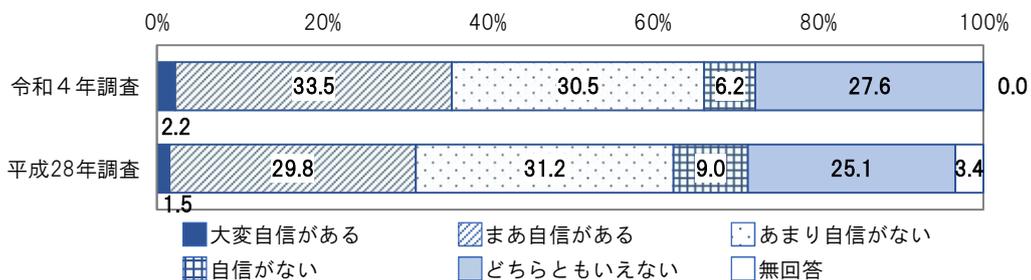
- 年齢別にみると、『自信がない』が3歳半で4割を超え、その他に比べてやや高くなっている。



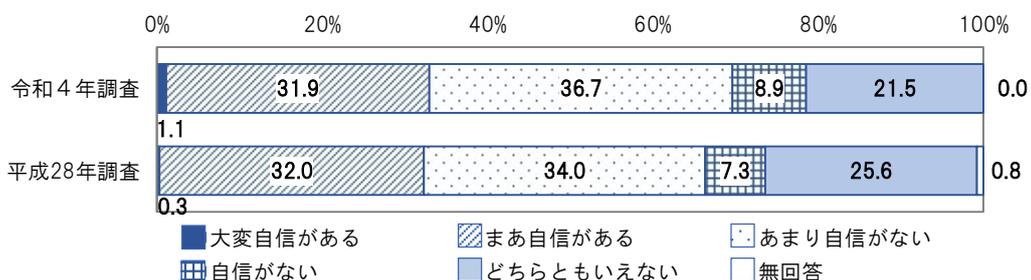
《経年比較》 ※子育てをしているのが「母親」と回答した人のみ

- 母親の状況について、平成28年調査と比較すると、1歳半では「まあ自信がある」がやや増加しており、『自信がある』の割合が高くなっている。3歳半では、『自信がある』は同程度となっているのに対し、『自信がない』がやや増加している。

1歳半



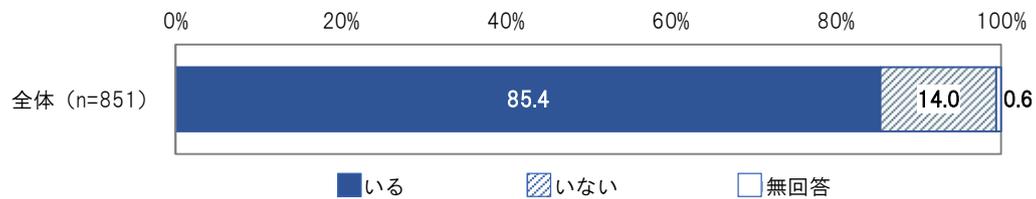
3歳半



(4) 日頃から子育てや家事を助けてくれる人

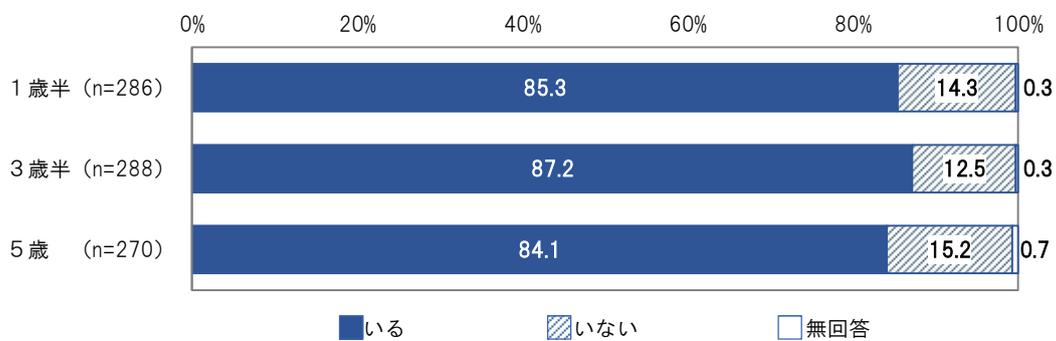
問 37 日頃から子育てや家事を助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

- 日頃から子育てや家事を助けてくれる人は、「いる」が85.4%と8割を超え、「いない」が14.0%となっている。



《年齢別》

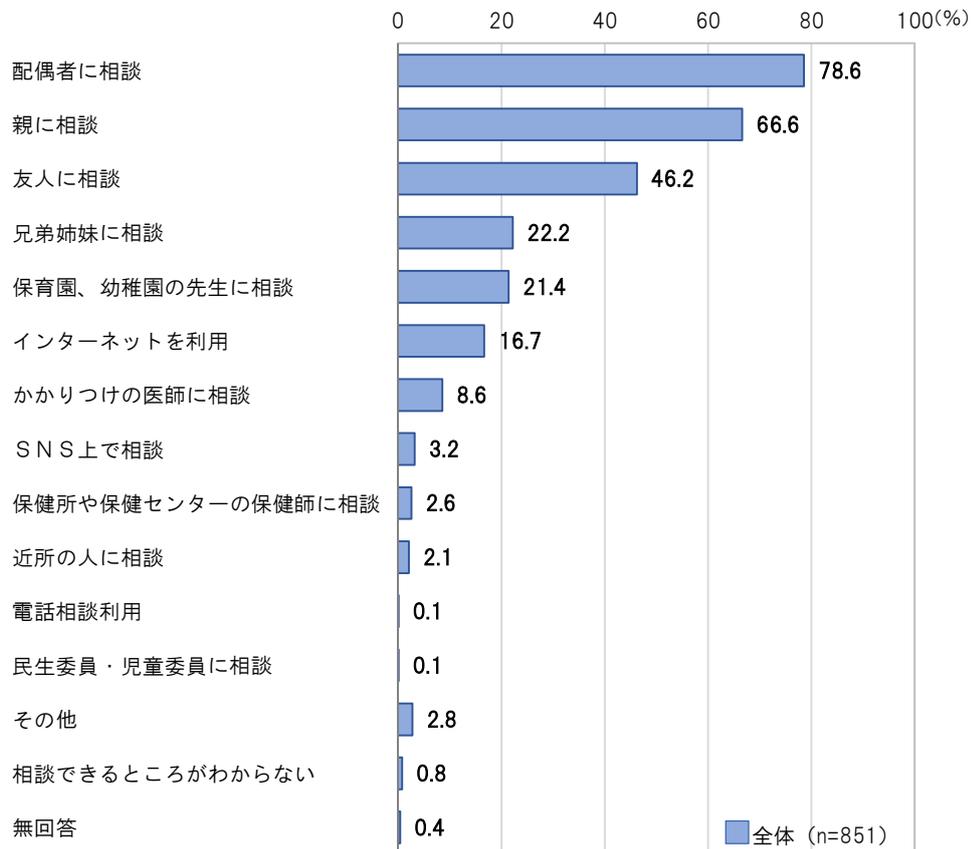
- 年齢別にみると、「いる」が3歳半でやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。



(5) 子育てについて困ったときの相談相手

問 38 あなたは、子育てについて困ったときや不安に思ったとき、主にどうされていますか。
(〇はあてはまるもの3つまで)

- 子育てについて困ったときの相談相手は、「配偶者に相談」が78.6%と8割近くを占めて最も高く、次いで「親に相談」(66.6%)、「友人に相談」(46.2%)、「兄弟姉妹に相談」(22.2%)、「保育園、幼稚園の先生に相談」(21.4%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「インターネットを利用」や「かかりつけの医師に相談」が高くなる傾向がみられる。また、3歳半では「保育園、幼稚園の先生に相談」が3割近くとなっており、他の年齢に比べて高くなっている。

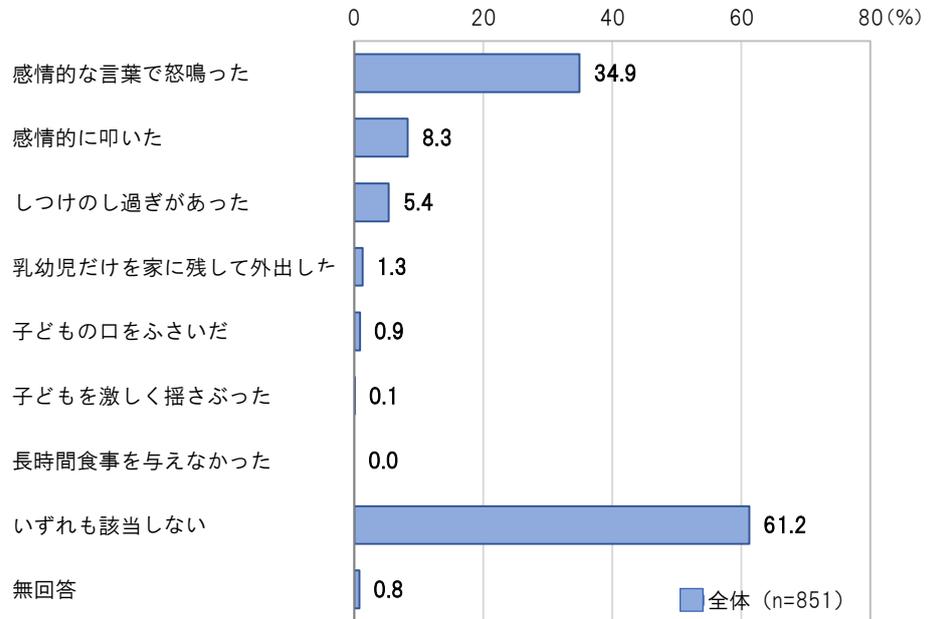
		(%)															
		回答者数 (人)	配偶者に相談	親に相談	友人に相談	兄弟姉妹に相談	保育園、幼稚園の先生に相談	インターネットを利用	かかりつけの医師に相談	SNS上で相談	保健所や保健センターの保健師に相談	近所の人に相談	電話相談利用	民生委員・児童委員に相談	その他	相談できるところがわからない	無回答
年齢別	1歳半	286	82.9	71.7	43.4	20.3	17.5	19.9	11.9	4.2	3.5	1.0	-	-	2.1	1.0	0.3
	3歳半	288	82.3	66.0	46.5	23.3	28.5	18.1	7.6	4.5	2.4	1.7	0.3	0.3	2.8	0.7	0.3
	5歳	270	71.1	62.2	49.3	22.6	18.1	12.2	6.3	0.7	1.9	3.7	-	-	3.7	0.7	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(6) この数か月の間に家庭内であった行為

問 39 この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。(○はあてはまるものすべて)

- この数か月の間に家庭内であった行為は、「いずれも該当しない」が61.2%と6割を超えている。
- 該当する人では「感情的な言葉で怒鳴った」が34.9%と3割を超えて高く、次いで「感情的に叩いた」(8.3%)、「しつけのし過ぎがあった」(5.4%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、すべての年齢で「いずれも該当しない」が最も高くなっている。
- 3歳半・5歳では「感情的な言葉で怒鳴った」が4割程度となっており、1歳半に比べて高くなっている。
- また、年齢が上がるにつれて「しつけのし過ぎがあった」が高くなる傾向がみられる。

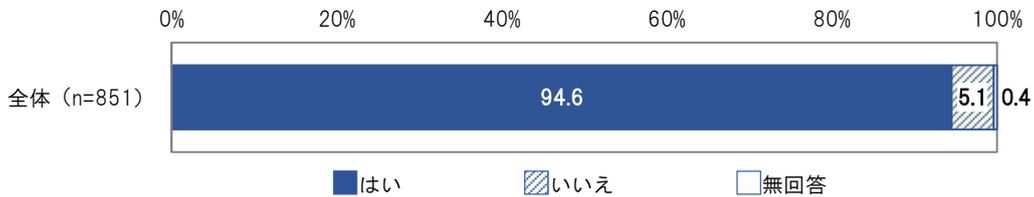
		回答者数 (人)	感情的な言葉で怒鳴った	感情的に叩いた	しつけのし過ぎがあった	乳幼児だけを家に残して外出した	子どもの口をふさいだ	子どもを激しく揺さぶった	長時間食事を与えなかった	いずれも該当しない	無回答
年齢別	1歳半	286	24.8	8.4	1.7	0.3	1.0	-	-	72.7	0.7
	3歳半	288	42.0	9.4	6.3	2.1	0.7	0.3	-	53.1	1.0
	5歳	270	37.4	6.7	8.5	1.5	1.1	-	-	58.5	0.4

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(7) 虐待の通報の認知

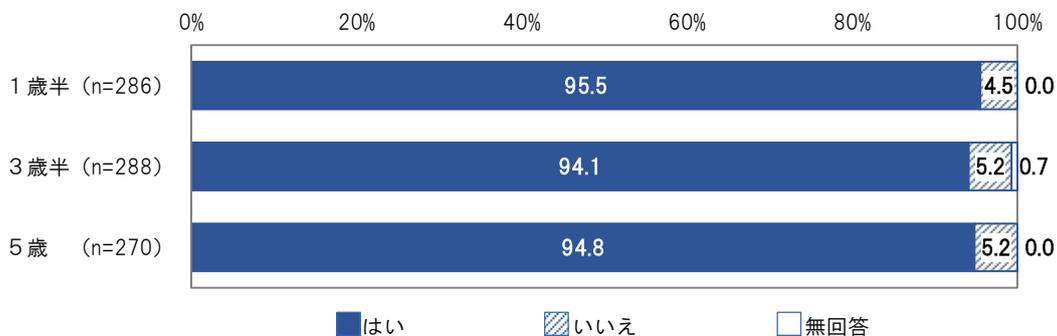
問 40 ①虐待を見たら通報しなければならないことを知っていましたか。(○は1つだけ)

- 虐待の通報の認知は、「はい(知っている)」が 94.6%と9割を超え、「いいえ(知らない)」は 5.1%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。

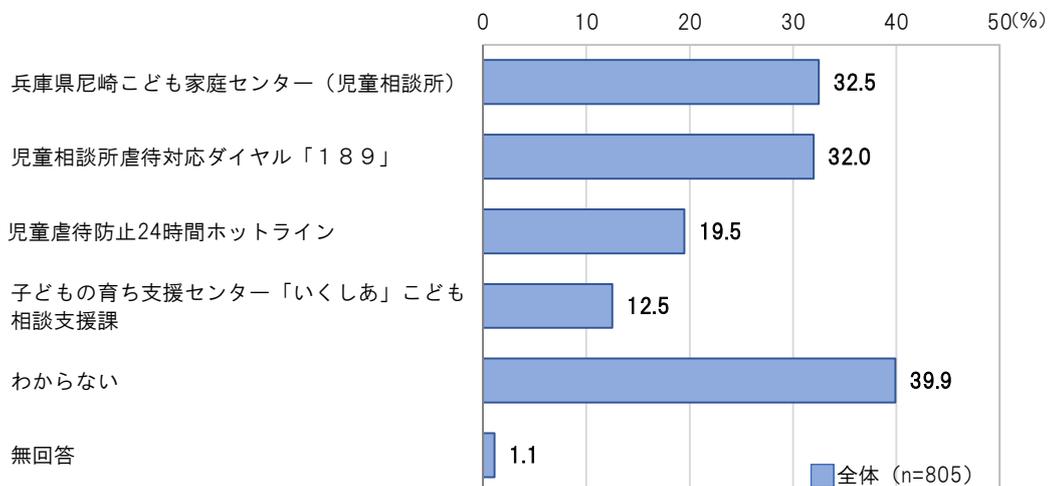


(7) -① 虐待の通報先

※ (7) で「はい」と回答した人のみ

問 40 ②虐待の通報は、どこにしたらよいか知っていますか。(○はあてはまるものすべて)

- 虐待の通報先は、「兵庫県尼崎こども家庭センター(児童相談所)」(32.5%) および「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」(32.0%) がともに3割を超えて高く、次いで「児童虐待防止24時間ホットライン」(19.5%)、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」こども相談支援課」(12.5%) の順となっている。一方、「わからない」が約4割を占めている。



(8) 子育て中の親子の交流の場への参加状況

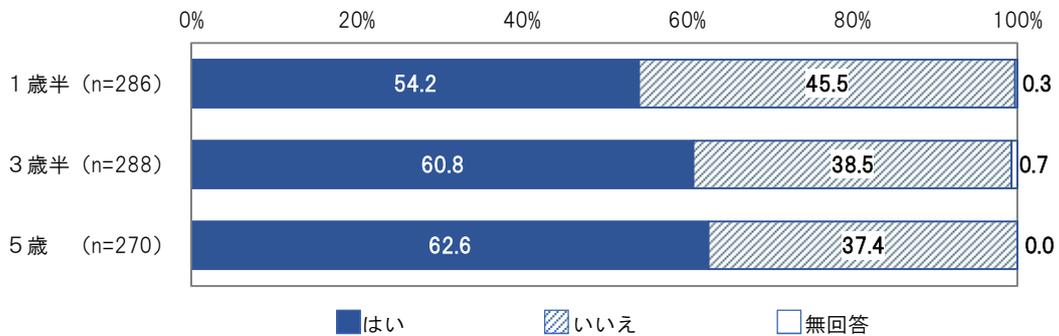
問 41 ①あなたは、子育て中の親子で交流できる場所に参加したことがありますか。
(○は1つだけ)

- 子育て中の親子の交流の場への参加状況は、「はい（参加している）」が 58.9%と6割近くを占め、「いいえ（参加していない）」は 40.7%となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい（参加している）」が高くなっている。

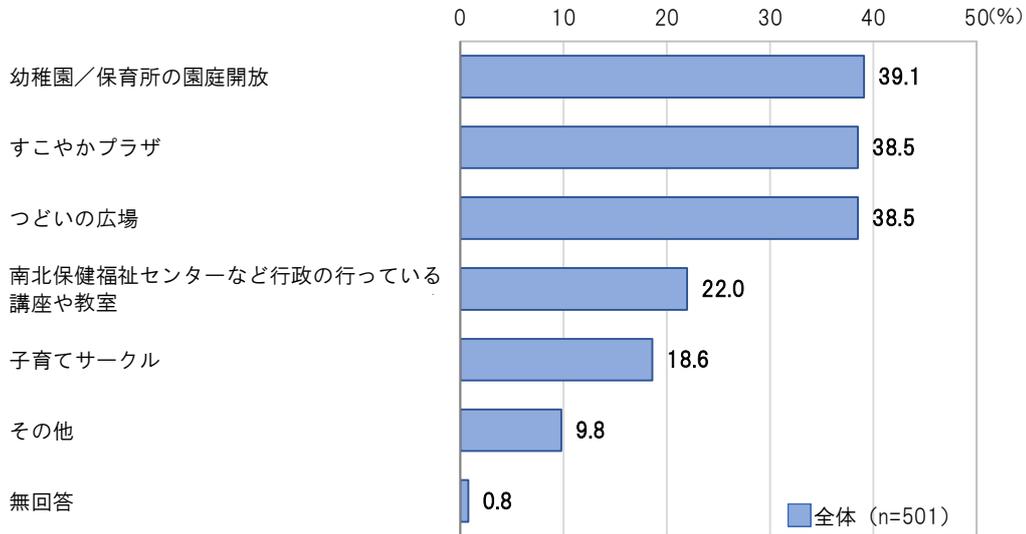


(8) -① 参加したことがある交流の場

※(8)で「はい」と回答した人のみ

問 41 ②それはどこですか。(○はあてはまるものすべて)

- 参加したことがある交流の場は、「幼稚園／保育所の園庭開放」(39.1%)、「すこやかプラザ」(38.5%)、「つどいの広場」(38.5%)がともに4割近くを占めて高くなっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、1歳半では「つどいの広場」、3歳半では「すこやかプラザ」、5歳では「幼稚園／保育所の園庭開放」が最も高くなっている。
- また、年齢が上がるにつれて「子育てサークル」が高くなる傾向がみられる。

		回答者数 (人)	幼稚園／保育所の園庭開放	すこやかプラザ	つどいの広場	南北保健福祉センターなど行政の行っている講座や教室	子育てサークル	その他	無回答
年齢別	1歳半	155	30.3	34.8	48.4	17.4	16.1	9.7	-
	3歳半	175	40.0	40.6	38.9	26.3	12.6	10.3	1.7
	5歳	169	46.7	39.1	29.0	21.9	27.2	9.5	0.6

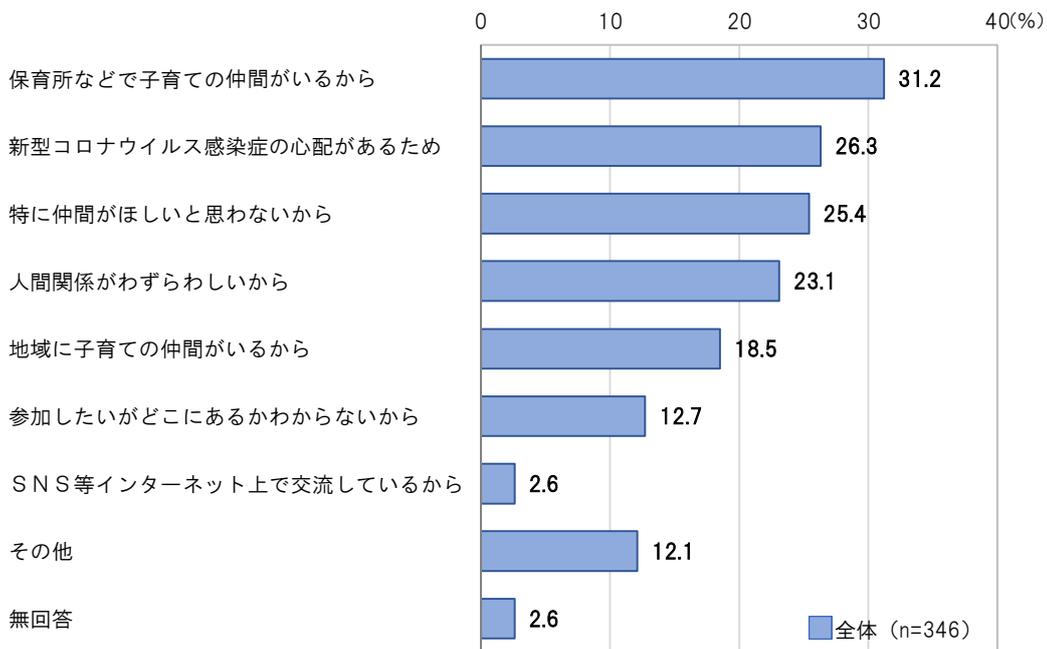
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(8) -② 子育て中の親子の交流の場に参加したことがない理由

※ (8) で「いいえ」と回答した人のみ

問 41 で「いいえ」と答えた方におたずねします。
 問 41-1 その理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- 子育て中の親子の交流の場に参加したことがない理由は、「保育所などで子育ての仲間がいるから」が31.2%と3割を超えて最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症の心配があるため」(26.3%)、「特に仲間がほしいと思わないから」(25.4%)、「人間関係がわずらわしいから」(23.1%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、1歳半では「新型コロナウイルス感染症の心配があるため」、3歳半・5歳では「保育所などで子育ての仲間がいるから」が最も高くなっている。
- また、年齢が下がるにつれて「新型コロナウイルス感染症の心配があるため」や「参加したいがどこにあるかわからないから」などが高くなる傾向がみられる。

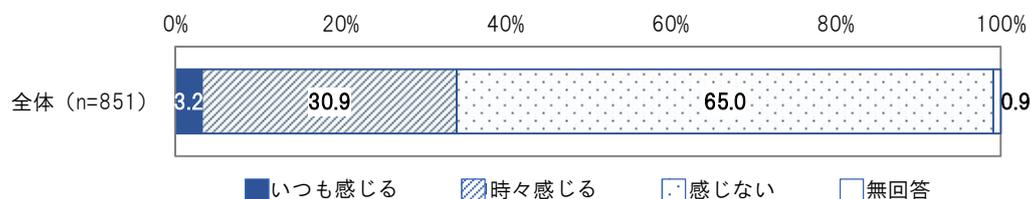
		回答者数 (人)	保育所などで子育ての仲間がいるから	新型コロナウイルス感染症の心配があるため	特に仲間がほしいと思わないから	人間関係がわずらわしいから	地域に子育ての仲間がいるから	参加したいがどこにあるかわからないから	SNS等インターネット上で交流しているから	その他	無回答
年齢別	1歳半	130	23.8	30.8	23.8	24.6	16.9	15.4	3.8	15.4	1.5
	3歳半	111	33.3	31.5	28.8	19.8	18.0	12.6	0.9	9.9	3.6
	5歳	101	39.6	14.9	24.8	24.8	21.8	9.9	3.0	9.9	2.0

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(9) 育てにくさを感じること

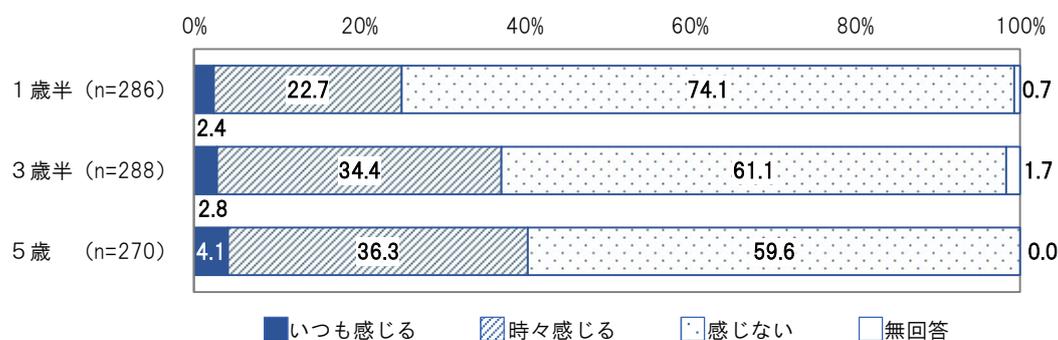
問 42 あなたは、お子さまに対して育てにくさを感じていますか。(○は1つだけ)

- 育てにくさを感じることは、「感じない」が65.0%と6割を超えている。
- 一方で、「いつも感じる」(3.2%)と「時々感じる」(30.9%)を合わせた『感じる』が3割を超えている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『感じる』が高くなっており、5歳では約4割を占めている。



(9) -① 育てにくさを感じた時の解決方法の認知

※ (9) で「いつも感じる」または「時々感じる」と回答した人のみ

問 42 で「いつも感じる」「時々感じる」と答えた方におたずねします。

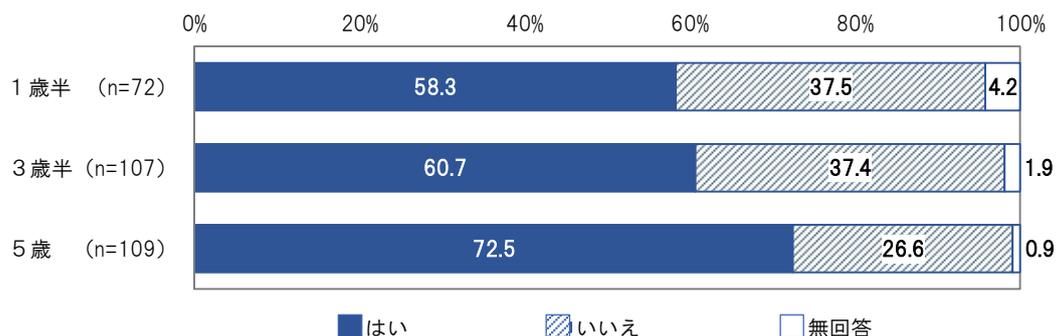
問 42-1 育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っていますか。(○は1つだけ)

- 育てにくさを感じた時の解決方法の認知は、「はい (知っている)」が 64.5% と 6 割を超え、「いいえ (知らない)」が 33.4% となっている。



《年齢別》

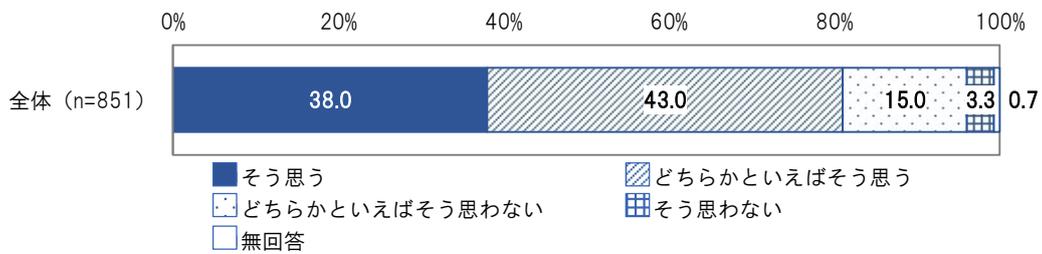
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい (知っている)」が高くなっており、5歳では7割を超えている。



(10) この地域で子育てをしていきたいか

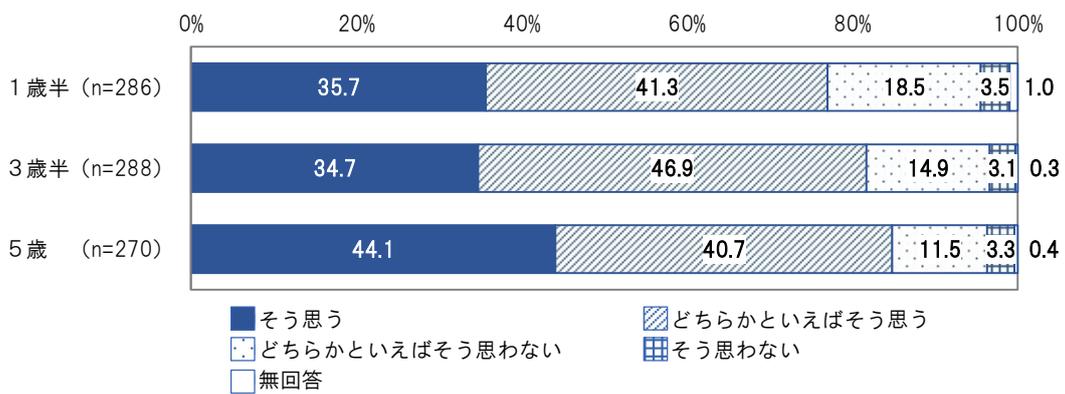
問 43 この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。(○は1つだけ)

- この地域で子育てをしていきたいかは、「どちらかといえばそう思う」が43.0%と4割を超えて最も高く、「そう思う」(38.0%)と合わせると、『そう思う』が8割を超えている。
- 一方で、「どちらかといえばそう思わない」(15.0%)と「そう思わない」(3.3%)を合わせた『そう思わない』は2割近くを占めている。



《年齢別》

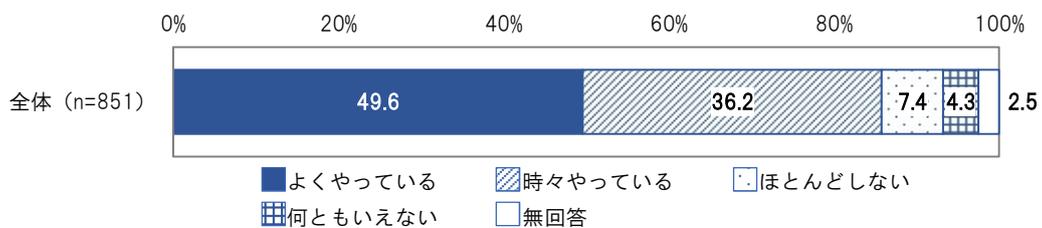
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて『そう思う』が高くなっている。



(11) 父親の育児状況

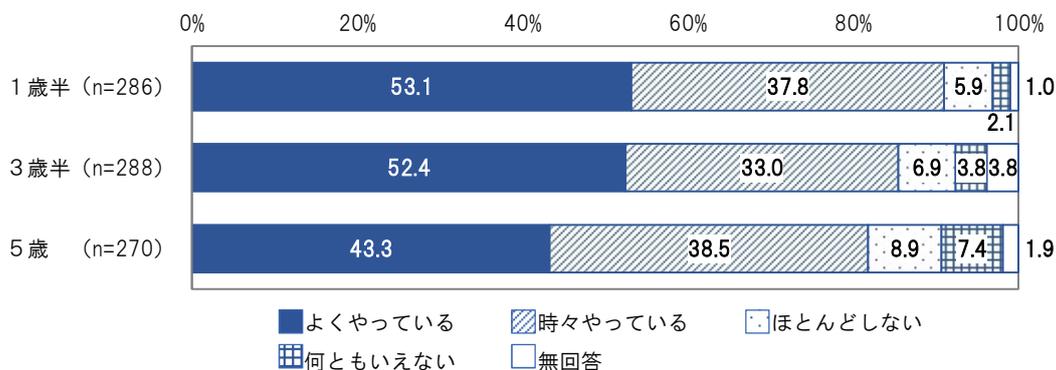
問 44 お子さまのお父さまは、育児をしていますか。(○は1つだけ)

- 父親の育児状況は、「よくやっている」が49.6%と約半数を占めて最も高く、「時々やっている」(36.2%)と合わせると、『やっている』が8割を超えている。
- 一方で、「ほとんどしない」が7.4%となっている。



《年齢別》

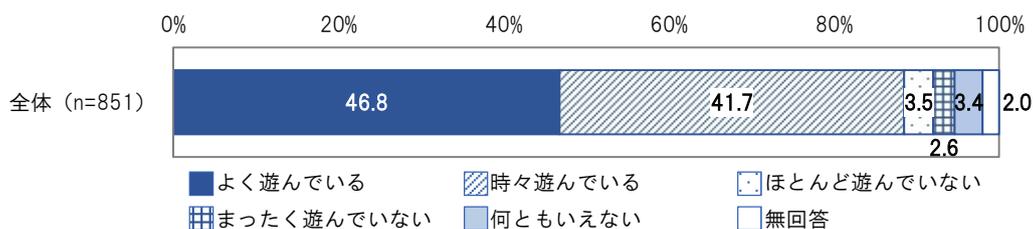
- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて『やっている』が高くなっており、1歳半では9割を超えている。



(12) 父親の子どもとの遊びの状況

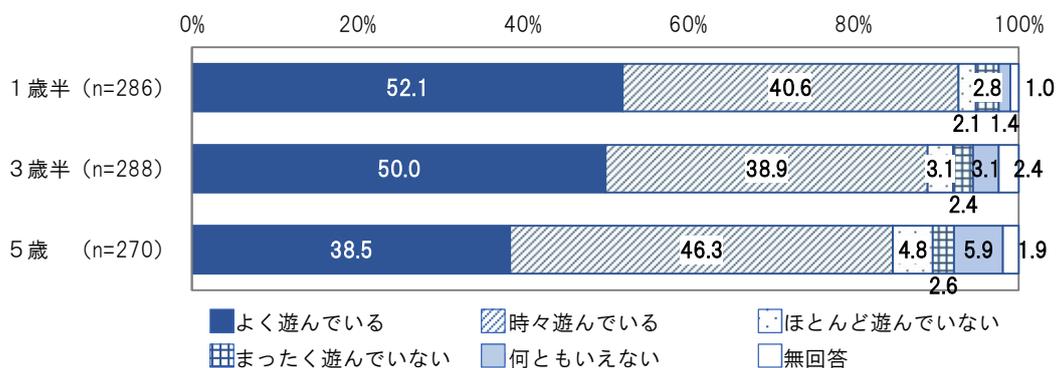
問 45 お父さまは、お子さまの遊び相手になっていますか。(○は1つだけ)

- 父親の子どもとの遊びの状況は、「よく遊んでいる」が46.8%と最も高く、「時々遊んでいる」(41.7%)と合わせると、『遊んでいる』が9割近くを占めている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて『遊んでいる』が高くなっており、1歳半では9割を超えている。

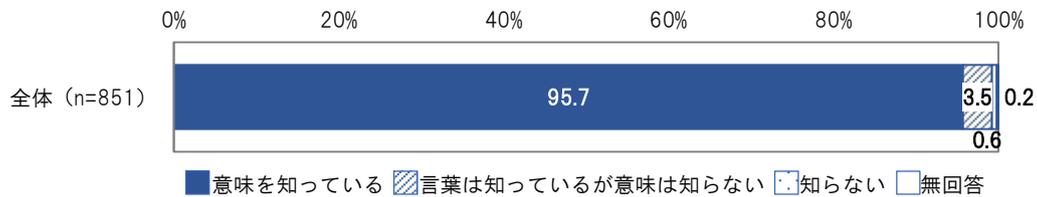


9. ドメスティック・バイオレンス（DV）について

(1) ドメスティック・バイオレンス（DV）の認知度

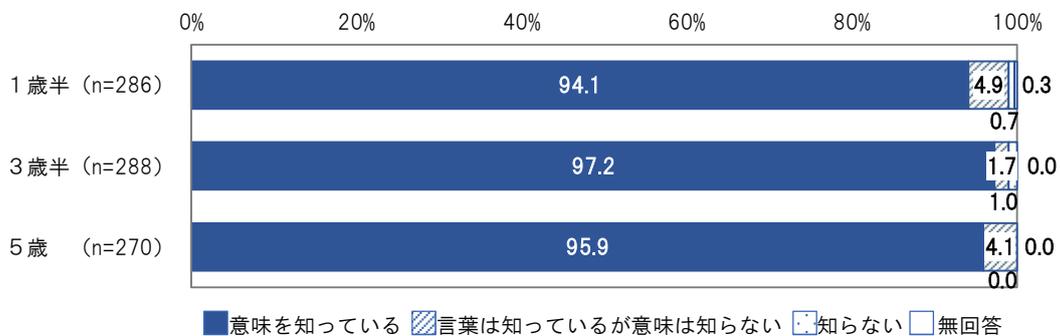
問46 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）の意味を知っていますか。
（○は1つだけ）

- ドメスティック・バイオレンス（DV）の認知度は、「意味を知っている」が95.7%と大半を占めている。



《年齢別》

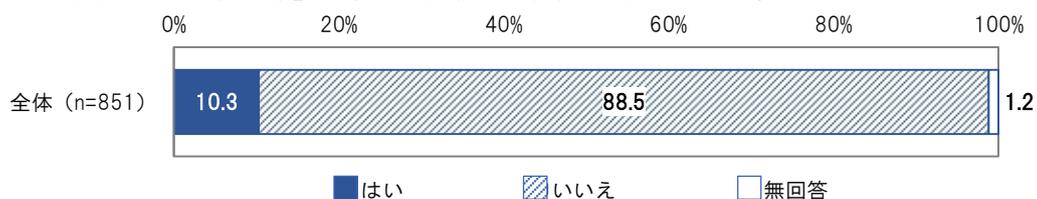
- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(2) ドメスティック・バイオレンス（DV）を受けた経験

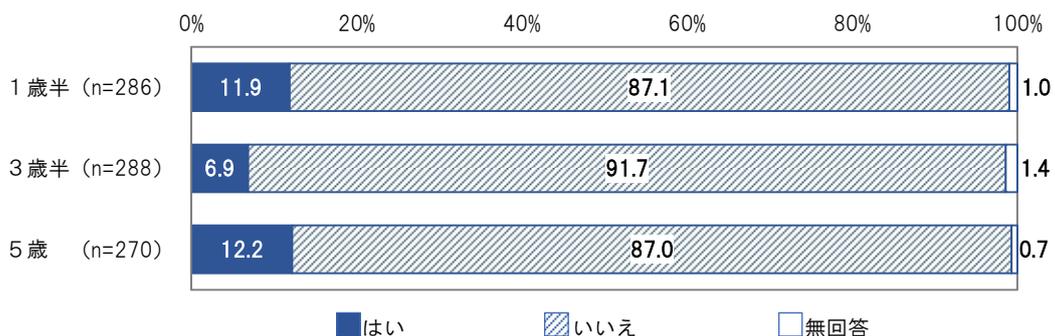
問47 あなたはドメスティック・バイオレンス（DV）を受けた経験がありますか。
（○は1つだけ）

- ドメスティック・バイオレンス（DV）を受けた経験は、「いいえ（ない）」が88.5%と9割近くを占めており、「はい（ある）」は約1割（10.3%）となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、1歳半・5歳で「はい（ある）」が1割を超え、3歳半に比べてやや高くなっている。

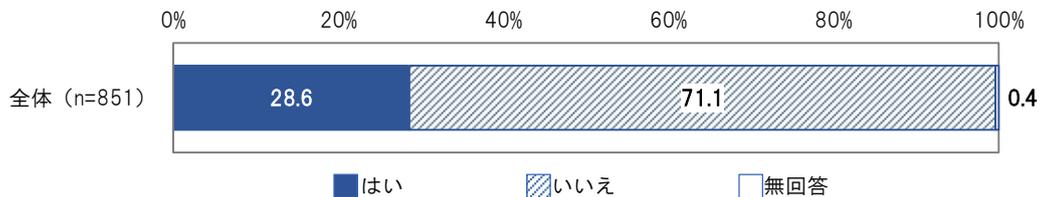


10. 子どもの事故防止について

(1) 子どものうつぶせ寝の状況

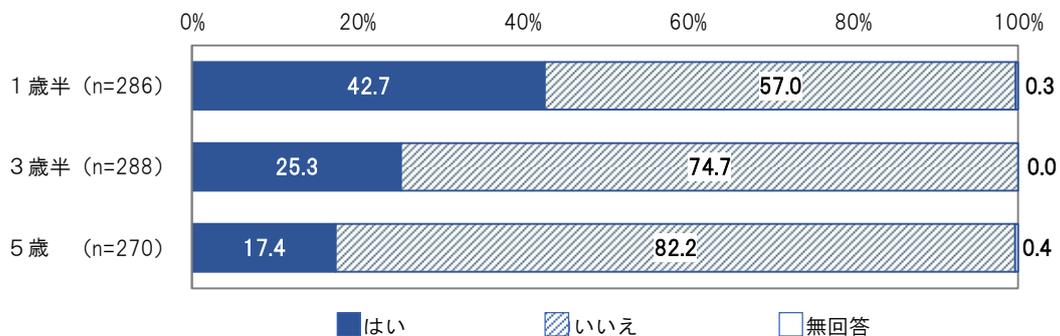
問 48 お子さまに、うつぶせ寝をさせていましたか。(○は1つだけ)

- 子どものうつぶせ寝の状況は、「いいえ (していない)」が 71.1%と7割を超えているものの、「はい (している)」が 28.6%と3割近くを占めている。



《年齢別》

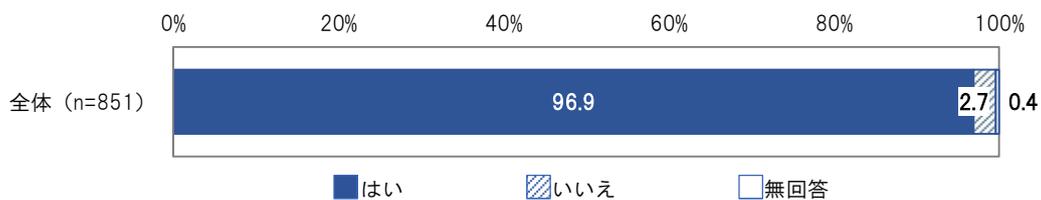
- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「はい (している)」が高くなっており、1歳半では4割を超えている。



(2) 家庭での子どもの事故防止の工夫

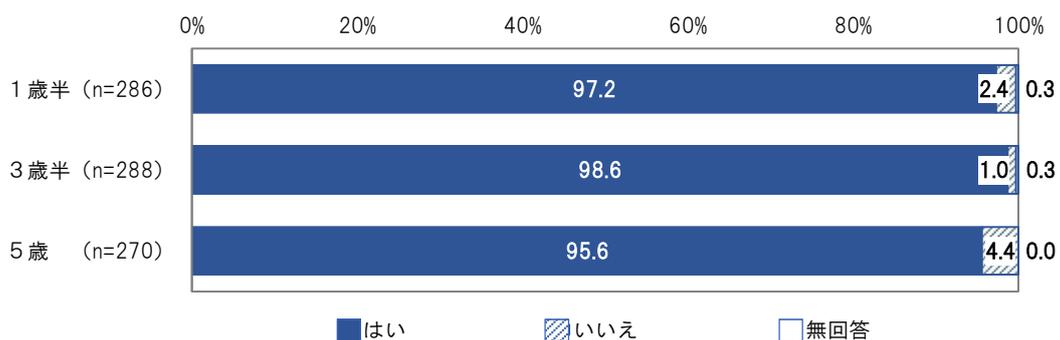
問 49 ①家庭でけがや事故が起こらないように工夫をしていますか。(○は1つだけ)

- 家庭での子どもの事故防止の工夫は、「はい (している)」が 96.9%と大半を占めている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、大きな差異はみられない。

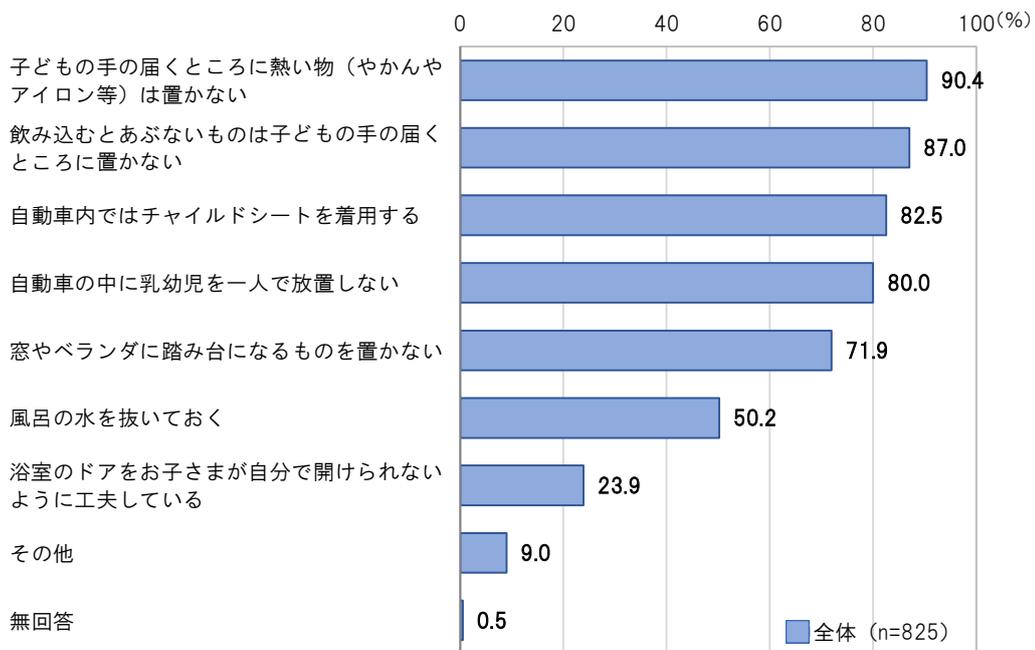


(2) -① 子どもの事故防止のために工夫している内容

※(2)で「はい」と回答した人のみ

問 49 ②事故防止のため、具体的にどのような工夫をしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- 子どもの事故防止のために工夫している内容は、「子どもの手の届くところに熱い物（やかんやアイロン等）は置かない」が 90.4%と約9割を占めて最も高く、次いで「飲み込むとあぶないものは子どもの手の届くところに置かない」（87.0%）、「自動車内ではチャイルドシートを着用する」（82.5%）、「自動車の中に乳幼児を一人で放置しない」（80.0%）の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、1歳半では「飲み込むとあぶないものは子どもの手の届くところに置かない」、3歳半・5歳では「子どもの手の届くところに熱い物（やかんやアイロン等）は置かない」が最も高くなっている。
- また、年齢が下がるにつれて「自動車内ではチャイルドシートを着用する」や「風呂の水を抜いておく」、「浴室のドアをお子さまが自分で開けられないように工夫している」などが高くなる傾向がみられる。

		回答者数 (人)	子どもの手の届くところに熱い物（やかんやアイロン等）は置かない	飲み込むとあぶないものは子どもの手の届くところに置かない	自動車内ではチャイルドシートを着用する	自動車の中に乳幼児を一人で放置しない	窓やベランダに踏み台になるものを置かない	風呂の水を抜いておく	浴室のドアをお子さまが自分で開けられないように工夫している	その他	無回答
年齢別	1歳半	278	91.0	93.5	85.6	79.9	68.7	56.8	32.0	11.2	1.1
	3歳半	284	91.5	86.3	85.2	82.7	70.4	50.0	21.1	8.5	0.4
	5歳	258	88.4	80.6	76.7	77.5	77.1	43.8	17.8	7.0	-

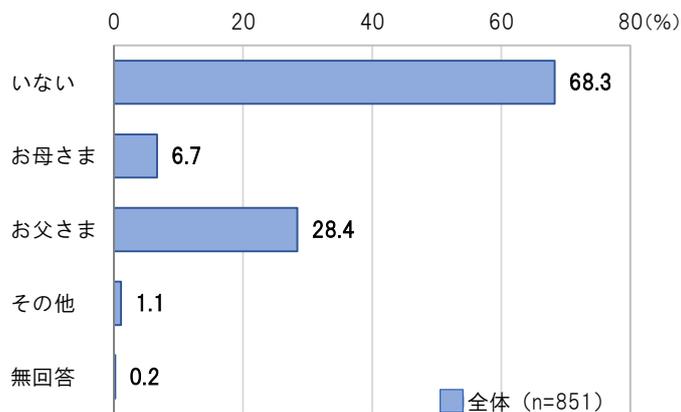
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

11. 喫煙状況や喫煙の健康影響について

(1) 家庭内の喫煙者

問 50 現在、家庭内に喫煙される方はいますか。(○はあてはまるものすべて)

- 家庭内の喫煙者は、「いない」が68.3%と7割近くを占めて最も高くなっている。
- 喫煙している人では「お父さま」が28.4%と3割近くを占めて高く、次いで「お母さま」(6.7%)となっている。



《年齢別、経年比較》

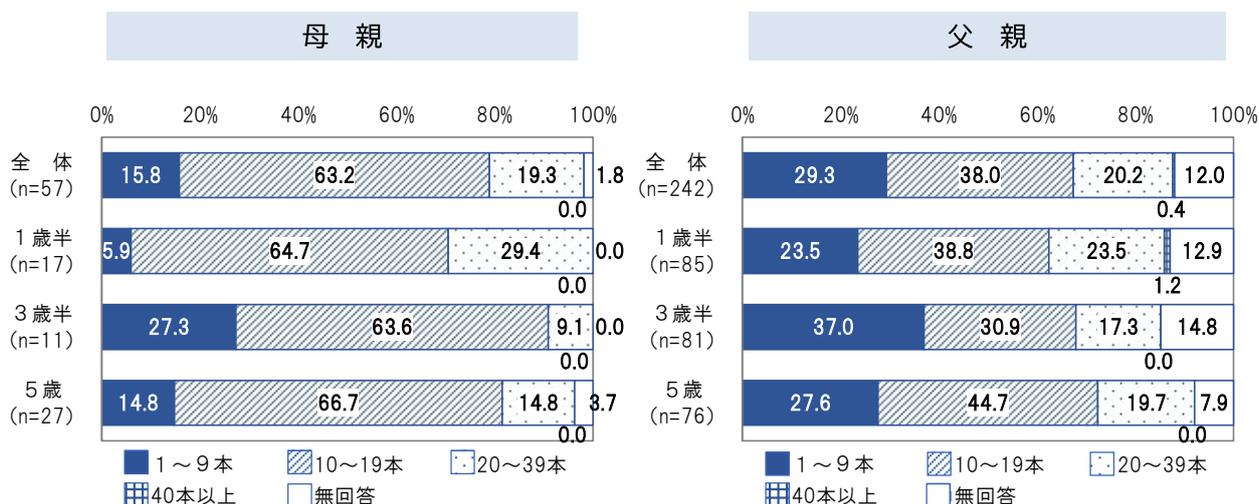
- 年齢別にみると、5歳で「お母さま」が1割となっており、その他の年齢に比べてやや高くなっている。
- 平成28年調査と比較すると、1歳半・3歳半ともに、「いない」が高くなっており、喫煙者が減っていることが分かる。

		(人) 回答者数	いない	お母さま	お父さま	その他	無回答
年齢別	1歳半	286	68.2	5.9	29.7	1.7	-
	3歳半	288	68.8	3.8	28.1	1.0	0.3
	5歳	270	68.1	10.0	28.1	0.4	-
経年比較	平成28年計	795	63.4	7.3	31.9	2.5	0.6
	1歳半	428	63.1	7.5	32.7	2.1	0.7
	3歳半	367	63.8	7.1	31.1	3.0	0.5

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

《喫煙本数》

- 母親の1日の喫煙本数では、子どもの年齢に関係なく「10～19本」が最も高く、「20～39本」は1歳半で29.4%と約3割を占め、その他の年齢の母親に比べ高くなっている。
- 父親の1日の喫煙本数では、3歳半では「1～9本」、その他の年齢では「10～19本」が最も高くなっている。また、「20～39本」はすべての年齢で2割程度を占め、母親に比べて高くなっている。



(2) 受動喫煙でも健康に悪影響が出ることの認知度

問 51 喫煙者だけでなく、受動喫煙でも健康に悪影響が出ることを知っていますか。
(○は1つだけ)

- 受動喫煙でも健康に悪影響が出ることの認知度は、「知っている」が99.2%と、ほぼ全員が知っている結果となっている。



(3) 子どもの受動喫煙が大人よりも体に悪影響が出ることの認知度

問 52 子どもがたばこの煙を吸うと、大人よりも体に悪影響が出ることを知っていますか。
(○は1つだけ)

- 子どもの受動喫煙が大人よりも体に悪影響が出ることの認知度は、「知っている」が91.0%と9割を超え、「知らない」が8.8%と1割近くとなっている。

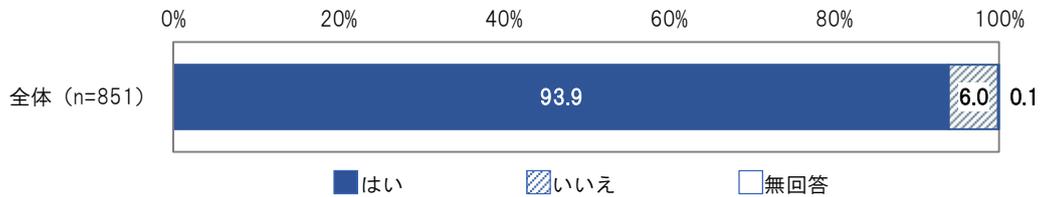


12. 医療や保健サービスのことについて

(1) 休日・夜間の小児救急医療機関（休日夜間急病診療所）の認知度

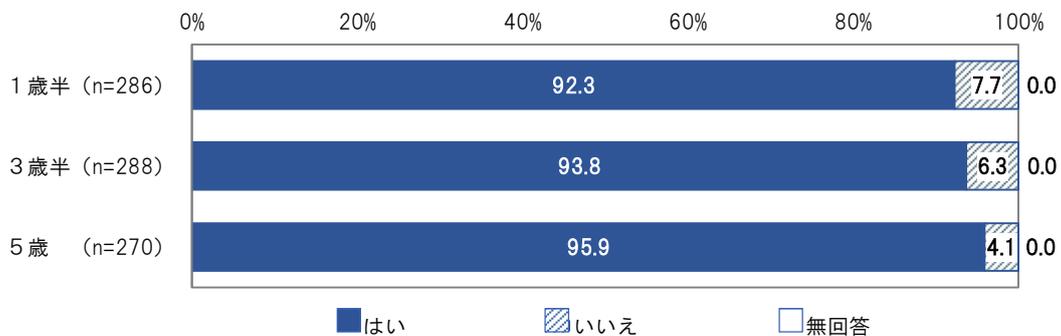
問 53 尼崎市の休日・夜間の小児救急医療機関（休日夜間急病診療所）を知っていますか。
 (○は1つだけ)

- ・休日・夜間の小児救急医療機関（休日夜間急病診療所）の認知度は、「はい（知っている）」が93.9%と9割を超え、「いいえ（知らない）」が6.0%となっている。



《年齢別》

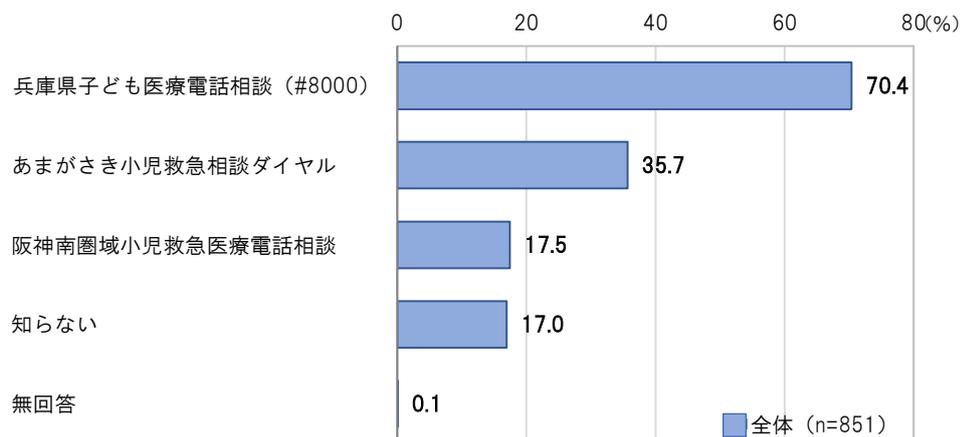
- ・年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「いいえ（知らない）」がやや高くなっており、1歳半では7.7%と1割近くとなっている。



(2) 小児救急医療電話相談の認知度

問 54 小児救急医療電話相談を知っていますか。(○はあてはまるものすべて)

- ・小児救急医療電話相談の認知度は、「兵庫県子ども医療電話相談（#8000）」が70.4%と約7割を占めて最も高く、次いで「あまがさき小児救急相談ダイヤル」（35.7%）、「阪神南圏域小児救急医療電話相談」（17.5%）の順となっている。
- ・また、「知らない」が17.0%と2割近くを占めている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「兵庫県子ども医療電話相談（#8000）」が高くなっている。
- また、年齢が上がるにつれて「知らない」が高くなる傾向がみられる。

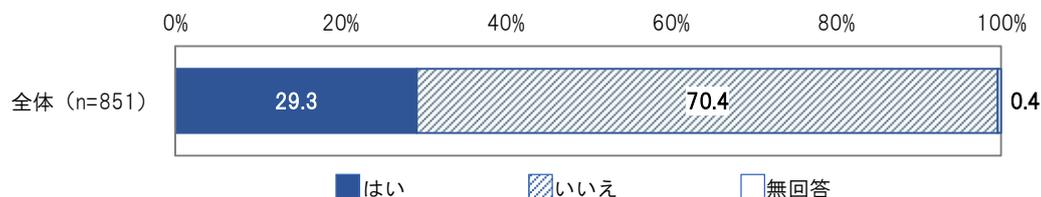
		回答者数（人）	兵庫県子ども医療電話相談（#8000）	あまがさき小児救急相談ダイヤル	阪神南圏域小児救急医療電話相談	知らない	無回答
年齢別	1歳半	286	75.2	34.6	17.1	15.7	-
	3歳半	288	71.5	30.9	16.7	17.0	-
	5歳	270	64.4	42.2	18.5	18.5	-

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

(3) 子どもの救命のための心肺蘇生法

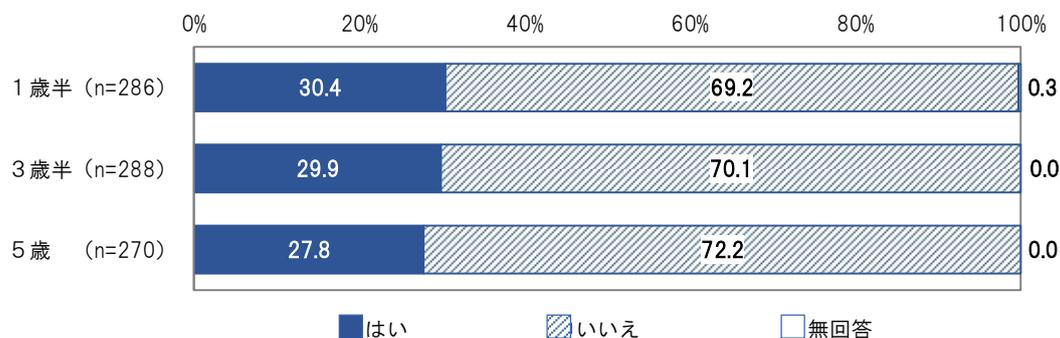
問55 子どもの救命のための心肺蘇生法（心臓マッサージ・人工呼吸）ができますか。
（○は1つだけ）

- 子どもの救命のための心肺蘇生法は、「いいえ（できない）」が70.4%と約7割を占め、「はい（できる）」は約3割（29.3%）となっている。



《年齢別》

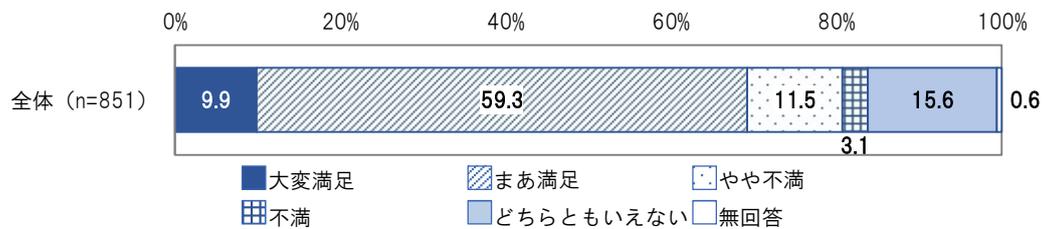
- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「はい（できる）」がやや高くなっているものの、大きな差異はみられない。



(4) 尼崎市の乳幼児健康診査に対する満足度

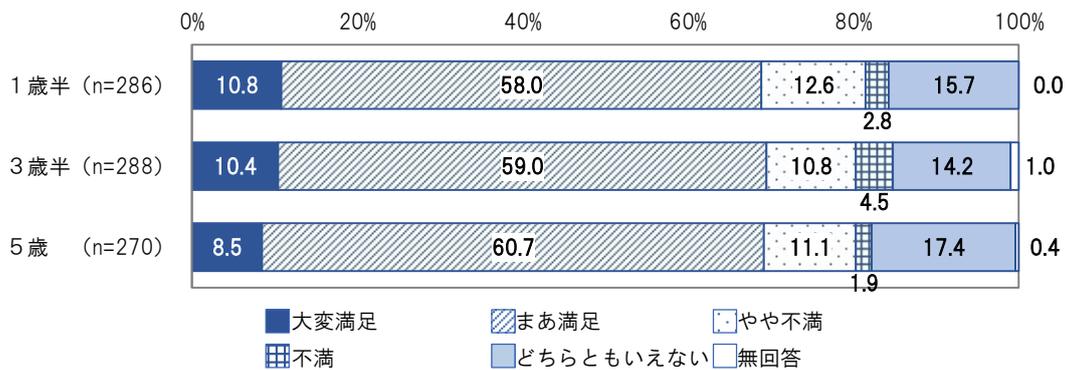
問 56 あなたは尼崎市の乳幼児健康診査についてどう思われますか。理由もご記入ください。
(○は1つだけ)

- ・ 尼崎市の乳幼児健康診査に対する満足度は、「まあ満足」が 59.3%と約6割を占めて最も高く、「大変満足」(9.9%) と合わせると、『満足』が約7割を占めている。
- ・ 一方で、「やや不満」(11.5%) と「不満」(3.1%) を合わせた『不満』は1割以上となっている。



《年齢別》

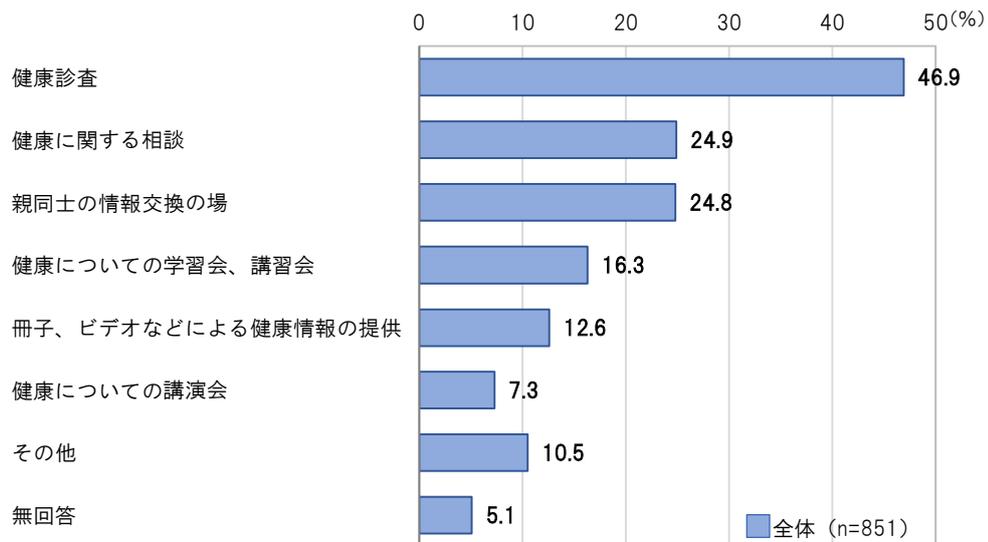
- ・ 年齢別にみると、大きな差異はみられない。



(5) 子どもの健康のために尼崎市が充実させるべきサービス

問 57 子どもの健康のために、尼崎市はどのようなサービスを充実させるべきだと思いますか。
(〇は3つまで)

- 子どもの健康のために尼崎市が充実させるべきサービスは、「健康診査」が46.9%と4割を超えて最も高く、その他の項目と比べても突出して高くなっている。
- 次いで「健康に関する相談」(24.9%)、「親同士の情報交換の場」(24.8%)、「健康についての学習会、講習会」(16.3%)の順となっている。



《年齢別》

- 年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「親同士の情報交換の場」、年齢が上がるにつれて「健康診査」や「健康に関する相談」、「冊子、ビデオなどによる健康情報の提供」などが高くなる傾向がみられる。

		回答者数 (人)	健康診査	健康に関する相談	親同士の情報交換の場	健康についての学習会、講習会	冊子、ビデオなどによる健康情報の提供	健康についての講演会	その他	無回答
年齢別	1歳半	286	46.9	23.8	26.6	17.5	9.1	7.0	10.5	5.9
	3歳半	288	47.2	25.3	25.0	15.3	14.2	6.9	11.5	4.5
	5歳	270	47.4	26.3	23.0	16.7	14.4	8.1	9.3	3.7

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。